



平成25年度  
機械工業振興補助事業  
公益事業振興補助事業  
補助事業実施に関する事務手続要領  
別冊 「補助事業評価事務手続要領」  
.....

公益財団法人 J K A

## 目 次

はじめに .....	1
I JKA 補助事業評価の枠組み .....	2
II JKA 補助事業評価の手順 .....	3
III 自己評価の実施 .....	4
1. 自己評価の流れ .....	4
2. 自己評価の実施 .....	5
3. 自己評価結果の提出（Eメール） .....	6
IV 自己評価書の記入にあたって .....	7
【事前計画／自己評価書（4／5） 自己評価Ⅰ・Ⅱ】	
記入例・作成の注意事項 .....	8～
機器・検診車・福祉車両 .....	8
イベント .....	10
事業・サービス .....	12
調査・分析・研究開発 .....	14
調査・分析・研究開発（研究補助） .....	16
建築・補修 .....	18
震災関連（拠点づくり他） .....	20
震災関連（記録活動他） .....	22
【事前計画／自己評価書（5／5） 事業の促進・阻害要因の自己分析】	
記入例・作成の注意事項 .....	24～
V 平成25年度 JKA 補助事業「自己評価スコアリングガイド」 .....	26～
標準※研究補助除く .....	26
研究補助 .....	28
（書式見本） 事前計画／自己評価書 .....	30～
事前計画／自己評価書（1／5）～（3／5） .....	30
※ 補助金交付申請時に作成	
事前計画／自己評価書（4／5）～（5／5） .....	31
※ 自己評価時に作成	

## － はじめに －

本財団では、JKA補助事業の透明性、効率性を確保するとともに、JKA補助事業の更なる向上を図るため、外部の学識経験者及び有識者からなる機械振興補助事業審査・評価委員会及び公益事業振興補助事業審査・評価委員会(以下「審査・評価委員会」という。)を設置してJKA補助事業の評価を行い、その結果を公表することとしています。

補助事業者には、補助事業完了後、事業の実施状況及び「事前計画」で設定した指標及び目標値等の達成状況を「自己評価書」により自ら確認・評価していただきます。

「自己評価」では、事業の実施結果、成果の測定・確認にとどまらず、その要因（なぜ事業をうまく実施できたのか、あるいは何が問題で計画通りに事業実施ができなかったのか。）も併せて確認・分析することで、事業の課題等がより明確になりますので、結果を補助事業者自らの今後の事業の改善等に役立てていただければ、幸いです。

本財団は、補助事業者の「自己評価」を基に、JKA補助事業の評価を行い、JKA補助事業全体の改善、向上に役立てます。

○ 「自己評価」は、後述のとおり「事前計画／自己評価書」により行っていただきますが、「事前計画／自己評価書」に記入された内容は、補助事業改善のための統計資料等に使用するとともに、評価結果は公表の対象となりますので、作成にあたっては、次の各点にご留意ください。

- ・ 内容を簡潔、かつ明確に、過不足なく記入するようにしてください。
- ・ 専門用語、業界用語の使用を避け、わかり易い言葉を使用し、初めて読む方にも理解し易い説明、文章を心がけてください。

○ 成果の広報について

補助事業者自ら、補助事業の成果について十分な広報に努めるとともに、JKAが行う補助事業の成果の広報にご協力(成果発表、補助事業アンケートへの回答等)をお願いいたします。

問 合 せ 先	公益財団法人 JKA 補助事業部 企画・評価課 〒102-8011 東京都千代田区六番町4番地6
電話 直通	03-3512-1279
FAX	03-3512-1274
問合せ時間	平日の 9時30分から12時まで 13時から17時30分まで
URL	<a href="http://ringring-keirin.jp">http://ringring-keirin.jp</a>
Email	m25hyoka@keirin-autorace.or.jp(機械工業振興 専用) p25hyoka@keirin-autorace.or.jp(公益事業振興 専用)

# I JKA補助事業評価の枠組み

JKA補助事業の評価は、審査・評価委員会のもと、以下の枠組みで行います。

## 1. JKA補助事業評価の目的

評価を実施することで、補助事業者の行う個々の補助事業及びJKA補助事業全体の改善、向上を図るとともに、評価結果を公表することで、社会的な説明責任に取り組みます。

## 2. 評価対象、評価方法及び評価者

評価対象	評価方法	評価者
個々の補助事業	個々の補助事業「木」(※)の目標達成状況並びに、その促進・阻害要因を把握し、評価します。	・補助事業者 ・JKA事務局 ・審査・評価委員会
JKA補助事業全体	個々の補助事業「木」(※)から構成される各事業分野における目標達成状況等の評価並びに事業分野を取り巻く環境の整理等を通して、JKA補助事業全体「森」(※)を評価します。	・審査・評価委員会

(※) 個々の補助事業を「木」に、JKA補助事業全体を「森」になぞらえています。

## 3. JKA補助事業のPDCAサイクルと評価

JKA補助事業の評価では、「個々の補助事業」と「JKA補助事業全体」の2つのPDCAサイクルで、JKA補助事業全体の改善、向上を図ります。(図表1)(図表2)

(1) 「個々の補助事業」のPDCAサイクルは、評価結果を補助事業者自ら今後の事業改善に役立てます。

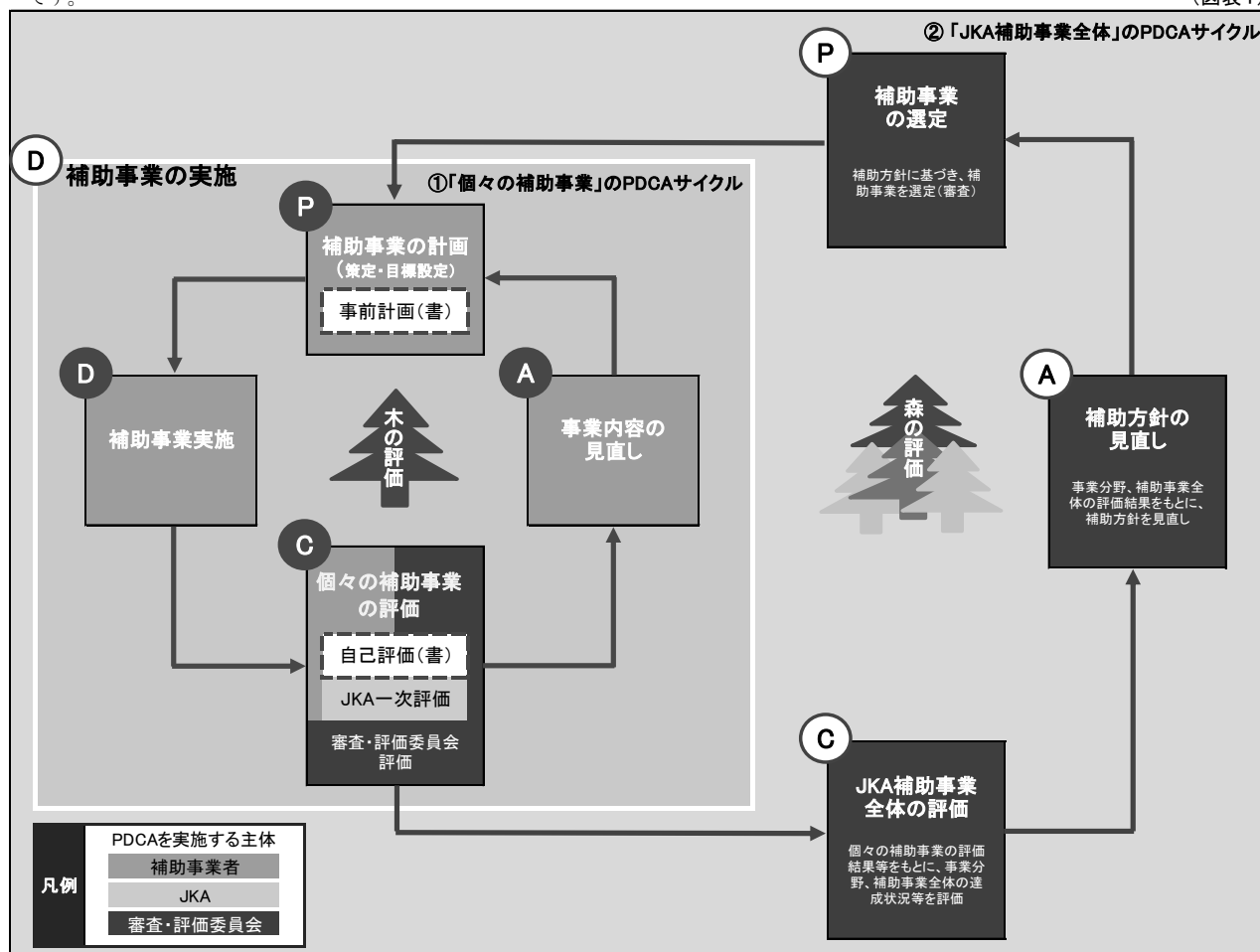
- ① 補助事業者には、「事前計画」から始まる一連の「自己評価」を行っていただきます。  
・「自己評価」は、事業の結果だけでなく、成果の実現を確認するため、2回実施していただきます。
- ② JKA事務局は、補助事業者の「自己評価」を受けて「JKA一次評価」を行います。
- ③ 審査・評価委員会は、「JKA一次評価」をもとに、「個々の補助事業」の審査・評価委員会評価を行います。

(2) 「JKA補助事業全体」のPDCAサイクルは、評価結果をJKA補助事業全体の改善、向上に役立てます。

審査・評価委員会は、「個々の補助事業」の評価結果等をもとに「JKA補助事業全体」の評価を行います。

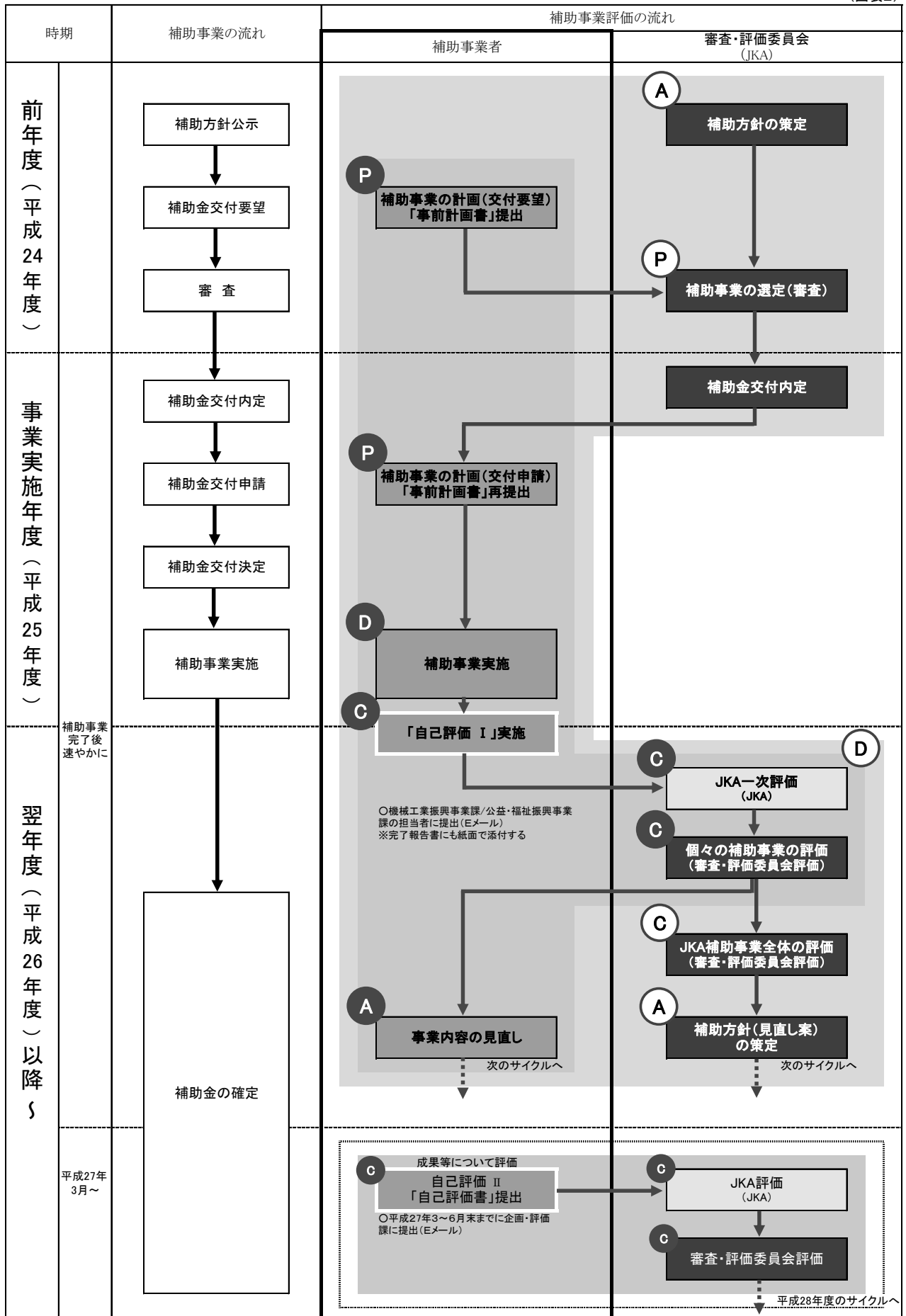
### 【PDCAサイクル】

・計画(P) → 実行(D) → 評価(C) → 改善(A)のステップを繰り返すことによって、継続的な業務改善を推進する、マネジメント手法です。(図表1)



## II JKA補助事業評価の手順

(図表2)

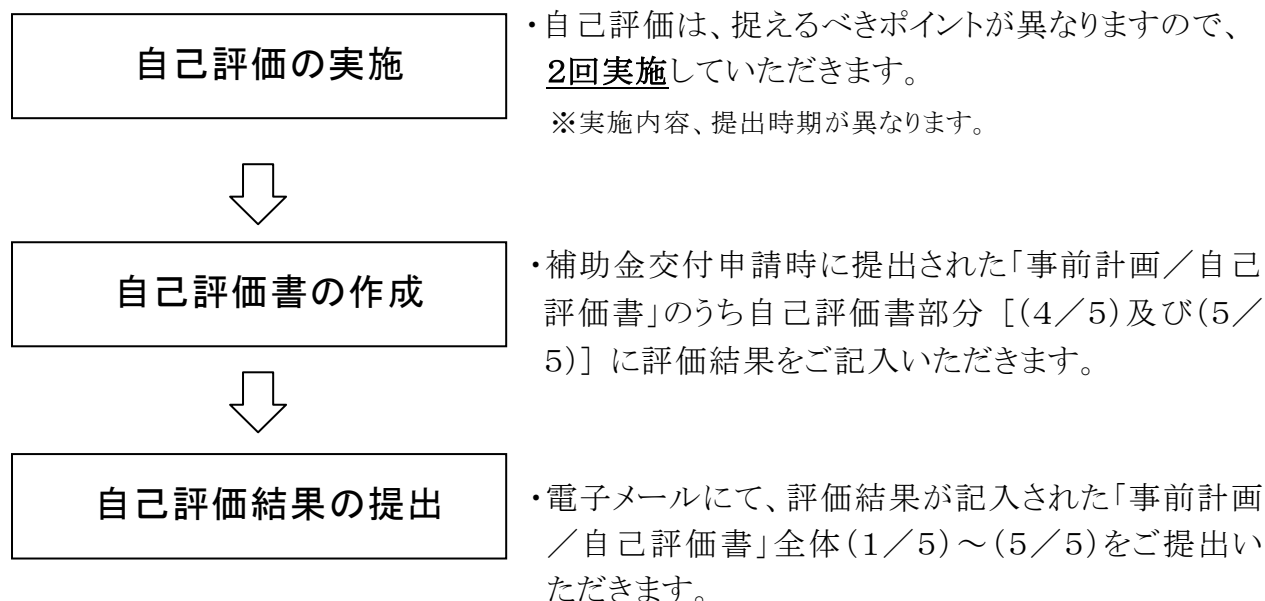


**P D C A** : 「個々の補助事業」のPDCAサイクル

**P D C A** : 「JKA補助事業全体」のPDCAサイクル

### Ⅲ 自己評価の実施

#### 1. 自己評価の流れ



#### \*\*\* 自己評価実施にあたっての注意事項 \*\*\*

##### 1. 「事前計画」との対比

自己評価は、「事前計画」と実際の事業の実施状況を対比して実施してください。  
止むを得ず、補助金交付申請後に事業計画を変更した場合は、別に提出した「事前計画／自己評価書」**計画変更用**と対比してください。

##### 2. 非数値の指標と目標値の達成状況

評価項目の性格上、数値で表現できない指標と目標を設定した場合でも、その達成状況を必ず文章でご記入ください。

##### 3. 採点欄のある評価項目

採点欄のある評価項目は、各人の主観で採点するのではなく、P26～29の[平成25年度JKA補助事業「自己評価スコアリングガイド」]を基準に採点してください。

##### 4. 評価体制

評価は、補助事業に係わる特定の担当者や組織だけではなく、なるべく利用者や参加者などの幅広い受益者、外部の第三者なども加わって行われることが望まれます。

※「評価委員会」が組織されることがより望ましいです。

特定の関係者のみで自己評価を実施しなければならない場合でも、それ以外の関係者に対して、ヒアリングやアンケートを実施するなど、信頼できる自己評価に努めてください。

##### 5. 評価過程の記録

評価にあたっては、議事録の作成、アンケート結果を集計する等、評価過程を必ず記録してください。(自己評価結果の提出の際には、この記録も併せてご提出いただきます。)

## 2. 自己評価の実施

自己評価		1回目 (自己評価Ⅰ)	2回目 (自己評価Ⅱ)
実施 作成	評価時期	事業完了後速やかに	平成27年3～6月
	評価内容	① 補助事業の実施状況、事業の実施結果及び実施直後に発生する成果(改善効果)を確認し、 <u>事前計画と対比して評価する。</u> ② <u>事業の促進・阻害要因の分析</u> を行う。	① (平成27年2月末までの)補助事業の成果・波及効果を確認し、 <u>事前計画と対比して評価する。</u> ② 「補助事業の目的(直接的な目的)」、「社会的課題の解決等(補助事業が最終的に目指すこと)」への貢献、達成状況の評価する。
	評価書式 (※1)	事前計画／自己評価書 (4／5)・(5／5)	事前計画／自己評価書 (4／5)
提出	提出時期	事業完了後速やかに	平成27年3～6月 末まで
	提出書類 (※2)	・事前計画／自己評価書 (1／5)～(5／5) ・評価過程の記録	・事前計画／自己評価書 (1／5)～(5／5) ・評価過程の記録
	提出方法	Eメール・郵送 (※3)	Eメール
	提出先	補助事業部 機械工業振興事業課 公益・福祉振興事業課 <u>担当者アドレス</u>	補助事業部 企画・評価課 (機械工業振興補助事業専用) <a href="mailto:m25hyoka@keirin-autorace.or.jp">m25hyoka@keirin-autorace.or.jp</a> (公益事業振興補助事業専用) <a href="mailto:p25hyoka@keirin-autorace.or.jp">p25hyoka@keirin-autorace.or.jp</a>

(※1)・「事前計画／自己評価書」は、5ページ構成で、(1／5)～(3／5)については、補助金交付申請時に既にご記入いただいています。

(※2)・複数の事業項目から構成される事業を実施した場合は、それぞれの事業項目毎に、提出書類を作成し、提出してください。

・補助金交付申請後に、止むを得ず事業計画を変更した場合は、別に提出した、「事前計画／自己評価書(3／5) 計画変更用」も併せて提出してください。

(※3)・1回目の評価結果(自己評価Ⅰ)はデータをEメールに添付して提出していただくほか、書面を「補助事業の完了報告書」に添付して提出してください。

### 3.自己評価結果の提出(Eメール)

メール件名・添付ファイル名の付け方について

		1回目	2回目
メール件名		自己評価 1	自己評価 2
添付 ファイル名	事前計画／ 自己評価書	整理番号 評価 1 補助事業者名 【ファイル名例】 <b>25-9-999 評価 1 (一財)〇協会</b>	整理番号 評価 2 補助事業者名 【ファイル名例】 <b>25-9-999 評価 2 (一財)〇協会</b>
	評価過程の 記録	整理番号 記録 1 補助事業者名 【ファイル名例】 <b>25-9-999 記録 1 (一財)〇協会</b>	整理番号 記録 2 補助事業者名 【ファイル名例】 <b>25-9-999 記録 2 (一財)〇協会</b>

・複数の事業項目から構成される事業を実施した場合は、下記の例にならない、添付ファイル名に通し番号を付して、提出してください。(下記は、2事業あるファイル名の例です。)

添付 ファイル名  【例】	事前計画／ 自己評価書	<b>25-9-999 評価 1 (一財)〇協会 2-1</b> <b>25-9-999 評価 1 (一財)〇協会 2-2</b>	<b>25-9-999 評価 2 (一財)〇協会 2-1</b> <b>25-9-999 評価 2 (一財)〇協会 2-2</b>
	評価過程の 記録	<b>25-9-999 記録 1 (一財)〇協会 2-1</b> <b>25-9-999 記録 1 (一財)〇協会 2-2</b>	<b>25-9-999 記録 2 (一財)〇協会 2-1</b> <b>25-9-999 記録 2 (一財)〇協会 2-2</b>

・補助金交付申請後に、止むを得ず事業計画を変更した場合に自己評価書に併せて提出する、「事前計画／自己評価書(3/5) 計画変更用」の添付ファイル名は、以下の例に倣ってください。

**25-9-999 事前計画(変更) (一財)〇協会**



## Ⅳ 自己評価書の記入にあたって

交付申請時に記入した「事前計画/自己評価書(3/5)」の事前計画を振り返り、自己評価を実施します。

次ページから、「事前計画/自己評価書(4/5)(5/5)」の記入例・作成の注意事項があります。

- ・(4/5)は要望申請時に選択した事業形態の分類項目別になっています。
- ・(5/5)事業の促進・阻害要因の自己分析は、全分類項目共通です。

### 自己評価書(4/5) 自己評価Ⅰ・自己評価Ⅱ

分類項目	ページ
【機器・検診車・福祉車両】 .....	8.9
【イベント】 .....	10.11
【事業・サービス】 .....	12.13
【調査・分析・研究開発】 .....	14.15
【研究補助】 .....	16.17
【建築・補修】 .....	18.19
【震災関連（拠点づくり他）】 .....	20.21
【震災関連（記録活動他）】 .....	22.23

---

### 自己評価書(5/5) 事業の促進・阻害要因 自己分析

全分類項目共通 .....	24.25
---------------	-------

【機器・検診車の整備/福祉車両の整備】公設工業試験研究所等・検診車・機器

別紙 JKA補助事業 平成25年度 事前計画/自己評価書(3/5)

4. 補助事業の事前計画

補助事業				
(1) 受益者 (ニーズ)				
(2) 事業内容	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>事前計画(3/5)を振り返り、自己評価を実施してください。</p> </div>			
<hr/>				
(3) 達成目標	事業の実施結果	<div> <div>【指標】</div> <div>1. 導入時期 2. ....</div> </div>	<div> <div>【目標値】</div> <div>1. 平成25年9月 2. ....</div> </div>	<div> <div>【具体的内容】</div> <div>1. 現在使用している車両のリース契約が9月末で終了するため、スムーズに10月から新しい車両で送迎が開始できるよう、9月中の導入を目指す。 2. ....</div> </div>
	事業の成果・波及	<div> <div>【指標】</div> <div>1. 延利用者数(月平均) 2. ....</div> </div>	<div> <div>【目標値】</div> <div>1. 400人 2. ....</div> </div>	<div> <div>【具体的内容】</div> <div>1. 定員(8人)を満たし、毎日(25日:月~土)の送迎で使用する予定。 2. ....</div> </div>
(4) 情報発信	事業の結果	<div> <div>【指標】</div> <div>1. 回覧数 2. 施設内掲示板に掲示する回数 3. HP掲載数 4. 月例だより発行回数</div> </div>	<div> <div>【目標値】</div> <div>1. 1回 2. 2回 3. 2回 4. 1回</div> </div>	<div> <div>【具体的内容】</div> <div>1. 車両導入後、新しい送迎車両が地域を走る旨回覧する。 2. 利用者及びスタッフに新車両が導入される事を周知する為、導入決定後と納車後に掲示を行う。 3. 利用者家族の他、誰でも目にできるよう、導入決定後と納車後に法人HPに掲載する。 4. 納車後、月例だよりに記事を掲載し、利用者家族へ新車両で送迎を行うことをお知らせする。</div> </div>
	競輪・オートレース補助金による事業であること	<div> <div>【指標】</div> <div>1. 回覧数 2. 施設内掲示板に掲示する回数 3. HP掲載数 4. ....</div> </div>	<div> <div>【目標値】</div> <div>1. 1回 2. 2回 3. 2回 4. ....</div> </div>	<div> <div>【具体的内容】</div> <div>1~4. 上記の情報発信時には、常に競輪・オートレース補助金による事業であることを明示する。</div> </div>
(5) 自己評価の体制 ※研究補助の場合は、「成果の活用方法」を記入				

自己評価に関するお問い合わせは、以下へお願いします。

補助事業部 企画・評価課

tel : 03-3512-1279

E-mail : [m25hyoka@keirin-autorace.or.jp](mailto:m25hyoka@keirin-autorace.or.jp)

(公設試験研究所等)

E-mail : [p25hyoka@keirin-autorace.or.jp](mailto:p25hyoka@keirin-autorace.or.jp)

(検診車・機器・福祉車両)

公設工業試験研究所等・検診車・機器【機器・検診車の整備/福祉車両の整備】

別紙 JKA補助事業 平成25年度 事前計画/自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

(1) 総合評価

① 自己評価Ⅰ [事業終了直後に、(2)個別項目の評価から実施]				注4 指標が複数ある場合は、指標ごとにそれぞれ採点を付け、複数の指標の採点を平均して項目の採点を付けてください。 (例) 1. 4点(100%) 2. 1点(50%) 3. 4点(100%) 4. 4点(100%) 4点+1点+4点+4点/4=3.25÷4点 ※割り切れない場合は整数に切り上げてください。																																		
事業全体についての意見・所感																																						
優れている点・課題、改善すべき点																																						
その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点																																						
② 自己評価Ⅱ [記]																																						
補助事業が最終的に目指すこと(課題の解決等)の達成状況及び今後の展望	注8	この場合の達成状況の算出方法は以下の通りとなります。 3/5の目標値「平成25年9月」に対し 4/5の達成値「平成25年8月」は遅れがなかったため、達成状況を100%とみなします。																																				
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>[達成値]</td> <td>[達成状況]</td> <td>[具体的内容]</td> <td>[採点]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">達成目標</td> <td>① 自己評価Ⅰ 事業の実施結果</td> <td>注1 1. 平成25年8月 2. ....</td> <td>注2 1. 100% 2. ....</td> <td>注3 1. 計画よりも早い納車となったが、駐車場の整備、送迎サービスルートの決定、送迎担当者のシフト作成など、車両運送スタッフが中心となって準備し、万全の態勢で納車を迎えることができ、新しい車両での送迎サービスを開始した。 2. ....</td> <td>注4</td> </tr> <tr> <td>② 自己評価Ⅱ 事業の成果・波及</td> <td>注1 1. 380人 2. ....</td> <td>注2 1. 95% 2. ....</td> <td>注3 1. 定員(8人)を満たさない日もあったため、毎日(25日:月~土)の... 2. ...</td> <td>注4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">情報発信</td> <td>① 自己評価Ⅰ 事業の結果</td> <td>注1 1. 1回 2. 1回 3. 2回 4. 1回</td> <td>注2 1. 100% 2. 50% 3. 100% 4. 100%</td> <td>注5 1. 車両... 2. 納車時に施設利用者及び施設スタッフに新しく車両が導入され... 3. 交付決定時と納車時に法人HPに記事を掲載した。 4. 納車前に月例日より利用者家族へ新車両で送迎を行うことのお知らせした。</td> <td>注4</td> </tr> <tr> <td>② 自己評価Ⅱ 競輪・オートレース補助金による事業であること</td> <td>注1 1. 1回 2. 1回 3. 2回 4. ....</td> <td>注2 1. 100% 2. 50% 3. 100% 4. ....</td> <td>注6 1~4. 上記の情報発信時には、常に競輪・オートレース補助金による事業であることを明示した。</td> <td>注4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">① 自己評価Ⅰ 自己評価の体制※研究補助の場合は、「成果の利活用方法」を記入</td> <td colspan="4">注7</td> </tr> </table>							[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]	[採点]	達成目標	① 自己評価Ⅰ 事業の実施結果	注1 1. 平成25年8月 2. ....	注2 1. 100% 2. ....	注3 1. 計画よりも早い納車となったが、駐車場の整備、送迎サービスルートの決定、送迎担当者のシフト作成など、車両運送スタッフが中心となって準備し、万全の態勢で納車を迎えることができ、新しい車両での送迎サービスを開始した。 2. ....	注4	② 自己評価Ⅱ 事業の成果・波及	注1 1. 380人 2. ....	注2 1. 95% 2. ....	注3 1. 定員(8人)を満たさない日もあったため、毎日(25日:月~土)の... 2. ...	注4	情報発信	① 自己評価Ⅰ 事業の結果	注1 1. 1回 2. 1回 3. 2回 4. 1回	注2 1. 100% 2. 50% 3. 100% 4. 100%	注5 1. 車両... 2. 納車時に施設利用者及び施設スタッフに新しく車両が導入され... 3. 交付決定時と納車時に法人HPに記事を掲載した。 4. 納車前に月例日より利用者家族へ新車両で送迎を行うことのお知らせした。	注4	② 自己評価Ⅱ 競輪・オートレース補助金による事業であること	注1 1. 1回 2. 1回 3. 2回 4. ....	注2 1. 100% 2. 50% 3. 100% 4. ....	注6 1~4. 上記の情報発信時には、常に競輪・オートレース補助金による事業であることを明示した。	注4	① 自己評価Ⅰ 自己評価の体制※研究補助の場合は、「成果の利活用方法」を記入		注7			
	[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]	[採点]																																		
達成目標	① 自己評価Ⅰ 事業の実施結果	注1 1. 平成25年8月 2. ....	注2 1. 100% 2. ....	注3 1. 計画よりも早い納車となったが、駐車場の整備、送迎サービスルートの決定、送迎担当者のシフト作成など、車両運送スタッフが中心となって準備し、万全の態勢で納車を迎えることができ、新しい車両での送迎サービスを開始した。 2. ....	注4																																	
	② 自己評価Ⅱ 事業の成果・波及	注1 1. 380人 2. ....	注2 1. 95% 2. ....	注3 1. 定員(8人)を満たさない日もあったため、毎日(25日:月~土)の... 2. ...	注4																																	
情報発信	① 自己評価Ⅰ 事業の結果	注1 1. 1回 2. 1回 3. 2回 4. 1回	注2 1. 100% 2. 50% 3. 100% 4. 100%	注5 1. 車両... 2. 納車時に施設利用者及び施設スタッフに新しく車両が導入され... 3. 交付決定時と納車時に法人HPに記事を掲載した。 4. 納車前に月例日より利用者家族へ新車両で送迎を行うことのお知らせした。	注4																																	
	② 自己評価Ⅱ 競輪・オートレース補助金による事業であること	注1 1. 1回 2. 1回 3. 2回 4. ....	注2 1. 100% 2. 50% 3. 100% 4. ....	注6 1~4. 上記の情報発信時には、常に競輪・オートレース補助金による事業であることを明示した。	注4																																	
① 自己評価Ⅰ 自己評価の体制※研究補助の場合は、「成果の利活用方法」を記入		注7																																				

注1 達成値＝実績値です。事前計画(3/5)で設定した目標値と同じ単位のものが入ります。

注2 事前計画(3/5)の目標値に対する達成値の割合をパーセンテージで記入してください。

注3 実績の具体的内容をご記入ください。また、達成値、達成状況が数値で表せなかった場合ややむを得ずスコアリングガイド通りには採点を行わなかった場合などは、その根拠を具体的に記入してください。

注4 P26.27のスコアリングガイドを基に採点してください。

注5 情報発信した内容の概要、使用した媒体、発信を行った日付等を記入してください。

注6 その事業が競輪・オートレースの補助金を得て実施されたものであると明示して情報発信した内容の概要、使用した媒体、発信を行った日付等を記入してください。

注7 自己評価の具体的な方法や手順、評価結果を公表したか否か、構成に第三者(外部委員など)が入ったのであればその旨記入してください。

注8 自己評価Ⅱの時点で、事前計画(2/5)に記載した「補助事業が最終的に目指すこと」の達成状況と、その達成状況と判断した根拠を併せて記入してください。

【イベント】振興事業・事業費・新世紀未来創造プロジェクト・東日本大震災復興支援

別紙 JKA補助事業 平成25年度 事前計画／自己評価書(3／5)

4. 補助事業の事前計画

補助事業																											
(1) 受益者 (ニーズ)																											
(2) 事業内容	<p>事前計画(3/5)を振り返り、自己評価を実施してください。</p>																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>【指標】</th> <th>【目標値】</th> <th>【具体的内容】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(3) 達成目標</td> <td>事業の実施結果</td> <td>                     1.実施回数 2.参加者数 3.参加者の満足度 4.****                 </td> <td>                     1.3回 2.300人 3.80% 4.****                 </td> <td>                     1.前年同様全3回の実施とする。 2.前年度実績(280人)より、5%増加を目標とする。 3.各回で参加者にアンケートを行い、回答者の80%から「満足」の回答を得る。 4.*****                 </td> </tr> <tr> <td>事業の成果・波及</td> <td>                     1.地域でのクラブ活動発足数 2.****                 </td> <td>                     1.1チーム 2.****                 </td> <td>                     1.大会へ参加したことでスポーツの一体感や達成感を感じ、参加者の中から有志が集まり地域クラブ活動を発足する。現在クラブ活動の全くない地域であるため、最初の1チームを作ることを目標とした。 2.*****                 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(4) 情報発信</td> <td>事業の結果</td> <td>                     1.回覧数 2.メール配信数 3.HP掲載回数 4.雑誌掲載回数                 </td> <td>                     1.4回 2.6回 3.7回 4.4回                 </td> <td>                     1.各大会前の告知と全3回後の完了報告を回覧し、各大会への理解及び参加を促す。 2.各大会前後に大会詳細を全職員にメール配信し、各大会への共通理解を得る。 3.開かれた環境であるため、各3回の前後の報告と全体総括をHPに掲載する。 4.大会に最も興味のある層に周知を行うため、各3回の大会の様子と全体総括を専門雑誌である『〇〇スポーツ』に掲載する。                 </td> </tr> <tr> <td>競輪・オートレース補助金による事業であること</td> <td>                     1.回覧数 2.メール配信数 3.HP掲載回数 4.****                 </td> <td>                     1.4回 2.6回 3.7回 4.****                 </td> <td>                     1～4. 上記の全てで、当該事業は競輪・オートレースの補助金を受けて実施したものである旨を明記する。                 </td> </tr> <tr> <td colspan="4">(5) 自己評価の体制 ※研究補助の場合は、「成果の利活用方法」を記入</td> </tr> </tbody> </table>			【指標】	【目標値】	【具体的内容】	(3) 達成目標	事業の実施結果	1.実施回数 2.参加者数 3.参加者の満足度 4.****	1.3回 2.300人 3.80% 4.****	1.前年同様全3回の実施とする。 2.前年度実績(280人)より、5%増加を目標とする。 3.各回で参加者にアンケートを行い、回答者の80%から「満足」の回答を得る。 4.*****	事業の成果・波及	1.地域でのクラブ活動発足数 2.****	1.1チーム 2.****	1.大会へ参加したことでスポーツの一体感や達成感を感じ、参加者の中から有志が集まり地域クラブ活動を発足する。現在クラブ活動の全くない地域であるため、最初の1チームを作ることを目標とした。 2.*****	(4) 情報発信	事業の結果	1.回覧数 2.メール配信数 3.HP掲載回数 4.雑誌掲載回数	1.4回 2.6回 3.7回 4.4回	1.各大会前の告知と全3回後の完了報告を回覧し、各大会への理解及び参加を促す。 2.各大会前後に大会詳細を全職員にメール配信し、各大会への共通理解を得る。 3.開かれた環境であるため、各3回の前後の報告と全体総括をHPに掲載する。 4.大会に最も興味のある層に周知を行うため、各3回の大会の様子と全体総括を専門雑誌である『〇〇スポーツ』に掲載する。	競輪・オートレース補助金による事業であること	1.回覧数 2.メール配信数 3.HP掲載回数 4.****	1.4回 2.6回 3.7回 4.****	1～4. 上記の全てで、当該事業は競輪・オートレースの補助金を受けて実施したものである旨を明記する。	(5) 自己評価の体制 ※研究補助の場合は、「成果の利活用方法」を記入			
	【指標】	【目標値】	【具体的内容】																								
(3) 達成目標	事業の実施結果	1.実施回数 2.参加者数 3.参加者の満足度 4.****	1.3回 2.300人 3.80% 4.****	1.前年同様全3回の実施とする。 2.前年度実績(280人)より、5%増加を目標とする。 3.各回で参加者にアンケートを行い、回答者の80%から「満足」の回答を得る。 4.*****																							
	事業の成果・波及	1.地域でのクラブ活動発足数 2.****	1.1チーム 2.****	1.大会へ参加したことでスポーツの一体感や達成感を感じ、参加者の中から有志が集まり地域クラブ活動を発足する。現在クラブ活動の全くない地域であるため、最初の1チームを作ることを目標とした。 2.*****																							
(4) 情報発信	事業の結果	1.回覧数 2.メール配信数 3.HP掲載回数 4.雑誌掲載回数	1.4回 2.6回 3.7回 4.4回	1.各大会前の告知と全3回後の完了報告を回覧し、各大会への理解及び参加を促す。 2.各大会前後に大会詳細を全職員にメール配信し、各大会への共通理解を得る。 3.開かれた環境であるため、各3回の前後の報告と全体総括をHPに掲載する。 4.大会に最も興味のある層に周知を行うため、各3回の大会の様子と全体総括を専門雑誌である『〇〇スポーツ』に掲載する。																							
	競輪・オートレース補助金による事業であること	1.回覧数 2.メール配信数 3.HP掲載回数 4.****	1.4回 2.6回 3.7回 4.****	1～4. 上記の全てで、当該事業は競輪・オートレースの補助金を受けて実施したものである旨を明記する。																							
(5) 自己評価の体制 ※研究補助の場合は、「成果の利活用方法」を記入																											

自己評価書に関するお問い合わせは、以下へお願いします。

補助事業部 企画・評価課

tel : 03-3512-1279

E-mail : m25hyoka@keirin-autorace.or.jp

(振興事業)

E-mail : p25hyoka@keirin-autorace.or.jp

(事業費・新世紀未来創造プロジェクト・東日本大震災復興支援)

## 別紙 JKA補助事業 平成25年度 事前計画／自己評価書(4/5)

## 5. 補助事業の自己評価

## (1) 総合評価

① 自己評価Ⅰ [事業終了直後に、(2)個別項目の評価から実施]				注4	
事業全体についての意見・所感					指標が複数ある場合は、指標ごとにそれぞれ評点を付け、複数の指標の評点を平均して項目の評点を付けてください。 (例) 1. 4点(100%) 2. 4点(100%) 3. 4点(100%) 4. 2点(75%) 4点+4点+4点+2点÷3.5=4点 ※割り切れない場合は整数に切り上げてください。
優れている点・課題、改善すべき点					
その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点					
この場合の達成状況の算出方法は以下の通りとなります。 3/5の目標値1. 300人に対する 4/5の達成値1. 290人の割合 ↓ 達成値/目標値=達成状況 290/300=97%					
② 自己評価Ⅱ [平均記入]					
補助事業が最終的に目指すこと(課題の解決等)の達成状況及び今後の展望	注8				
達成目標	① 自己評価Ⅰ	② 自己評価Ⅱ	③ 自己評価Ⅲ	④ 自己評価Ⅳ	⑤ 自己評価Ⅴ
事業の実施結果	1.3回 2.290人 3.85% 4.***	1.100% 2.97% 3.106% 4.***	1.計画通り、全3回実施した(〇〇、××、△△)。 2.前年度実績(280人)を上回ったものの、目標達成には至らなかった。原因は……を分析している。 3.参加者にアンケートを行い、3回とも回答者の85%から「満足」の回答を得た。 4.***	1.大会参加者の中から有志が集まり地域クラブ活動を発足した(チーム名)現在、□公園を拠点に10代～30代20人のメンバーで活動を行っている。 2.***	1.各3回の大会を開催する。 2.各3回の前後に大会詳細を全職員にメール配信した。 3.各3回の前後の報告と全体総括をHPに掲載する。 4.各3回の大会の様子を専門雑誌である『〇〇スポーツ』に掲載した(〇号、△号、×号)全体総括は構成上掲載できなかった。
事業の成果・波及	1.1チーム 2.***	1.100% 2.***	1.大会参加者の中から有志が集まり地域クラブ活動を発足した(チーム名)現在、□公園を拠点に10代～30代20人のメンバーで活動を行っている。 2.***	1.各3回の大会を開催する。 2.各3回の前後に大会詳細を全職員にメール配信した。 3.各3回の前後の報告と全体総括をHPに掲載する。 4.各3回の大会の様子を専門雑誌である『〇〇スポーツ』に掲載した(〇号、△号、×号)全体総括は構成上掲載できなかった。	1.各3回の大会を開催する。 2.各3回の前後に大会詳細を全職員にメール配信した。 3.各3回の前後の報告と全体総括をHPに掲載する。 4.各3回の大会の様子を専門雑誌である『〇〇スポーツ』に掲載した(〇号、△号、×号)全体総括は構成上掲載できなかった。
情報発信	1.4回 2.6回 3.7回 4.3回	1.100% 2.100% 3.100% 4.75%	1.各3回の大会を開催する。 2.各3回の前後に大会詳細を全職員にメール配信した。 3.各3回の前後の報告と全体総括をHPに掲載する。 4.各3回の大会の様子を専門雑誌である『〇〇スポーツ』に掲載した(〇号、△号、×号)全体総括は構成上掲載できなかった。	1.各3回の大会を開催する。 2.各3回の前後に大会詳細を全職員にメール配信した。 3.各3回の前後の報告と全体総括をHPに掲載する。 4.各3回の大会の様子を専門雑誌である『〇〇スポーツ』に掲載した(〇号、△号、×号)全体総括は構成上掲載できなかった。	1.各3回の大会を開催する。 2.各3回の前後に大会詳細を全職員にメール配信した。 3.各3回の前後の報告と全体総括をHPに掲載する。 4.各3回の大会の様子を専門雑誌である『〇〇スポーツ』に掲載した(〇号、△号、×号)全体総括は構成上掲載できなかった。
競輪・オートレース補助金による事業であること	1.4回 2.6回 3.7回 4.***	1.100% 2.100% 3.100% 4.***	1.各3回の大会を開催する。 2.各3回の前後に大会詳細を全職員にメール配信した。 3.各3回の前後の報告と全体総括をHPに掲載する。 4.各3回の大会の様子を専門雑誌である『〇〇スポーツ』に掲載した(〇号、△号、×号)全体総括は構成上掲載できなかった。	1.各3回の大会を開催する。 2.各3回の前後に大会詳細を全職員にメール配信した。 3.各3回の前後の報告と全体総括をHPに掲載する。 4.各3回の大会の様子を専門雑誌である『〇〇スポーツ』に掲載した(〇号、△号、×号)全体総括は構成上掲載できなかった。	1.各3回の大会を開催する。 2.各3回の前後に大会詳細を全職員にメール配信した。 3.各3回の前後の報告と全体総括をHPに掲載する。 4.各3回の大会の様子を専門雑誌である『〇〇スポーツ』に掲載した(〇号、△号、×号)全体総括は構成上掲載できなかった。
自己評価Ⅰ 自己評価の体制※研究補助の場合は、「成果の利活用方法」を記入	注7				注4

注1 達成値＝実績値です。事前計画(3/5)で設定した目標値と同じ単位のものが入ります。

注2 事前計画(3/5)の目標値に対する達成値の割合をパーセンテージで記入してください。

注3 実績の具体的内容を記入してください。また、達成値、達成状況が数値で表せなかった場合ややむを得ずスコアリングガイド通りには採点を行わなかった場合などは、その根拠を具体的に記入してください。

注4 P26.27のスコアリングガイドを基に採点してください。

注5 情報発信した内容の概要、使用した媒体、発信を行った日付等を記入してください。

注6 その事業が競輪・オートレースの補助金を得て実施されたものであると明示して情報発信した内容の概要、使用した媒体、発信を行った日付等を記入してください。

注7 自己評価の具体的な方法や手順、評価結果を公表したか否か、構成に第三者(外部委員など)が入ったのであればその旨記入してください。

注8 自己評価Ⅱの時点で、事前計画(2/5)に記載した「補助事業が最終的に目指すこと」の達成状況と、その達成状況と判断した根拠を併せて記入してください。

【事業・サービス】振興事業・事業費・新世紀未来創造プロジェクト・東日本大震災復興支援

別紙 JKA補助事業 平成25年度 事前計画／自己評価書(3/5)

4. 補助事業の事前計画

補助事業			
(1) 受益者 (ニーズ)			
(2) 事業内容	<p>事前計画(3/5)を振り返り、自己評価を実施してください。</p>		
(3) 達成目標	事業の実施結果	<p>【指標】</p> <p>1. 実施回数 2. 相談者数 3. 参加者の満足度 4. ....</p>	<p>【目標値】</p> <p>1. 24回 2. 各回平均20人 3. 80% 4. ....</p>
	事業の成果・波及	<p>1. 新規相談者数の増加 2. ....</p>	<p>【具体的内容】</p> <p>1. 月2回、全24回実施する。 2. 1回5時間、相談員2名で相談者1人につき30分行う予定。 3. 相談者に対し、終了後にアンケートを実施する。相談者の80%から「意義あり」の回答を得る。 4. ....</p>
(4) 情報発信	事業の結果	<p>【指標】</p> <p>1. 市報掲載回数 2. 理事会報告回数 3. HP掲載回数 4. 会報発行回数</p>	<p>【目標値】</p> <p>1. 12回 2. 2回 3. 24回 4. 4回</p>
	競輪・オートレース補助金による事業であること	<p>1. 市報掲載回数 2. 理事会報告回数 3. HP掲載回数 4. ....</p>	<p>【具体的内容】</p> <p>1. 毎月市報に相談を行う日時を掲載し、地域住民へ事業の周知をはかる。 2. 前期・後期に事業実績の報告を行い、内部で共有する。 3. 毎回相談日時を告知すると共に相談件数や相談事例を発信する。 4. 年4回発行の会報に、3か月ごとの相談実績を報告する。</p>
<p>(5) 自己評価の体制 ※研究補助の場合は、「成果の利活用方法」を記入</p>			

自己評価書に関するお問い合わせは、以下へお願いします。

補助事業部 企画・評価課

tel : 03-3512-1279

E-mail : m25hyoka@keirin-autorace.or.jp

(振興事業)

E-mail : p25hyoka@keirin-autorace.or.jp

(事業費・新世紀未来創造プロジェクト・東日本大震災復興支援)

別紙 JKA補助事業 平成25年度 事前計画／自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

(1) 総合評価

① 自己評価Ⅰ		〔事業終了直後に、(2)個別項目の評価から実施]		注4 指標が複数ある場合は、指標ごとにそれぞれ評点を付け、複数の指標の評点を平均して項目の評点をつけてください。 (例) 1. 3点(92%) 2. 4点(100%) 3. 4点(100%) 4. 4点(100%) 3点+4点+4点+4点/4=3.75≒4点 ※割り切れない場合は整数に切り上げてください。	
事業全体についての意見・所感		この場合の達成状況の算出方法は以下の通りとなります。 3/5の目標値1. 24回に対する 4/5の達成値1. 24回の割合 ↓ 達成値/目標値＝達成状況 24/24＝100%			
優れている点・課題、改善すべき点					
その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点					
② 自己評価Ⅱ		〔平成25年度記入用〕		注8	
補助事業が最終的に目指すこと(課題の解決等)の達成状況及び今後の展望					
達成目標	① 自己評価Ⅰ	〔達成値〕	〔達成状況〕	〔具体的内容〕	〔採点〕
	事業の実施結果	1. 24回 2. 平均22人 3. 75% 4. ....	1. 100% 2. 110% 3. 94% 4. ....	1. 事前計画通り、全24回の大会を実施した。 2. 夏は20人を下回る回があったが、秋以降は回を重ねるごとに参加者が増加した。 3. 5段階評価のアンケートを実施したところ、「普通」「満足」に回答が集中し、目標達成には至らなかったが、「不満」の回答やクレームはなかった。 4. ....	注4
	② 自己評価Ⅱ	1. 80人 2. ....	1. 80% 2. ....	1. 新規相談者数は増加したが、目標達成には至らなかった。前年比は目標が過ぎた。新規相談者にアンケートを行ったところ、新規相談者の情報源は新たに知ったところからであり、告知の方法は正しいものと考えている。 2. ....	注4
	事業の成果・波及			※指標に合わせて文頭に付番し、箇条書きで記入してください。	注4
情報発信	① 自己評価Ⅰ	〔達成値〕	〔達成状況〕	〔具体的内容〕	〔採点〕
	事業の結果	1. 11回 2. 2回 3. 24回 4. 4回	1. 92% 2. 100% 3. 100% 4. 100%	1. 初回は市報の紙面の関係で掲載が出来なかった。 2. 計画通り、前期・後期の理事会で上期・下期の実績を報告した。 3. 計画通り、全24回の相談実績についてHPに掲載した。 4. 計画通り、年4回発行の会報で相談事業の特集記事を掲載した。	注4
情報発信	競輪・オートレース補助金による事業であること	1. 12回 2. 2回 3. 24回 4. ....	1. 92% 2. 100% 3. 100% 4. ....	1～4の全てで、競輪・オートレースの補助金を受けて実施したものである旨を明示した。	注4
	① 自己評価Ⅰ	自己評価の体制※研究補助の場合は、「成果の利活用方法」を記入			注4

注1 達成値＝実績値です。事前計画(3/5)で設定した目標値と同じ単位のものが入ります。

注2 事前計画(3/5)の目標値に対する達成値の割合をパーセンテージで記入してください。

注3 実績の具体的内容を記入してください。また、達成値、達成状況が数値で表せなかった場合ややむを得ずスコアリングガイド通りには採点を行わなかった場合などは、その根拠を具体的に記入してください。

注4 P26.27のスコアリングガイドを基に採点してください。

注5 情報発信した内容の概要、使用した媒体、発信を行った日付等を記入してください。

注6 その事業が競輪・オートレースの補助金を得て実施されたものであると明示して情報発信した内容の概要、使用した媒体、発信を行った日付等を記入してください。

注7 自己評価の具体的な方法や手順、評価結果を公表したか否か、構成に第三者(外部委員など)が入ったのであればその旨記入してください。

注8 自己評価Ⅱの時点で、事前計画(2/5)に記載した「補助事業が最終的に目指すこと」の達成状況と、その達成状況と判断した根拠を併せて記入してください。

4. 補助事業の事前計画

補助事業				
(1) 受益者 (ニーズ)				
(2) 事業内容	<p>事前計画(3/5)を振り返り、自己評価を実施してください。</p>			
(3) 達成目標	事業の実施結果	<p>【指標】</p> <p>1. 事業の進捗状況 2. ....</p>	<p>【目標値】</p> <p>1. 100% 2. ....</p>	<p>【具体的内容】</p> <p>1. 事業完了直後のため、指標を事業の進捗状況とする。 2. ....</p>
	事業の成果・波及	<p>1. 当該調査結果報告書(HP掲載)へのアクセス数 2. 分析結果の社会における活用見込み 3. ....</p>	<p>1. 1万件(累計) 2. 有 3. ....</p>	<p>1. 法人会員数の2倍を目標値とした。 2. 会員の中から、調査結果を利用した事業の展開がある。 3. ....</p>
(4) 情報発信	事業の結果	<p>1. 地域への周知 2. メール配信回数 3. HP掲載回数 4. 機関紙への掲載回数</p>	<p>1. 0回 2. 2回 3. 2回 4. 1回</p>	<p>1. 本調査は非常に専門性が高く、一市民には難解であるため地域への周知は行わない。 2. 調査の中間報告と最終報告を全職員にメール配信し、情報共有を行う。 3. 調査の中間報告と最終報告を法人HPに掲載し、会員及び法人HPを訪れた全ての人が報告書を閲覧できるようにする。 4. 調査終了時、最終報告を機関紙に掲載する。</p>
	競輪・オートレース補助金による事業であること	<p>1. 地域への周知 2. メール配信回数 3. HP掲載回数 4. ....</p>	<p>1. 0回 2. 2回 3. 2回 4. ....</p>	<p>1. 本調査は非常に専門性が高く、一市民には難解であるため地域への周知は行わない。 2~4. 上記の情報発信時には、常に競輪・オートレース補助金による事業であることを明示する。</p>
(5) 自己評価の体制 ※研究補助の場合は、「成果の活用方法」を記入				

自己評価書に関するお問い合わせは、以下へお願いします。

補助事業部 企画・評価課

tel : 03-3512-1279

E-mail : m25hyoka@keirin-autorace.or.jp

(振興事業)

E-mail : p25hyoka@keirin-autorace.or.jp

(事業費・新世紀未来創造プロジェクト・東日本大震災復興支援)



別紙 JKA補助事業 平成25年度 事前計画／自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

(1) 総合評価

① 自己評価Ⅰ [事業終了直後に、(2)個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。]				
事業全体についての意見・所感				<b>注4</b> 指標が複数ある場合は、指標ごとにそれぞれ評点を付け、複数の指標の評点を平均して項目の評点をつけてください。 (例) 2. 4点(100%) 3. 4点(100%) 4. 4点(100%) $4点+4点+4点/3=4点$ ※割り切れない場合は整数に切り上げてください。
優れている点・課題、改善すべき点				
その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点				
② 自己評価Ⅱ [平均値を記入]				
補助事業が最終的に目指すこと(課題の解決等)の達成状況及び今後の展望	注8	この場合の達成状況の算出方法は以下の通りとなります。 3/5の目標値1. 1万件に対する 4/5の達成値1. 1万2千件の割合 ↓ $達成値/目標値=達成状況$ $1万2千/1万=120\%$		
達成目標	① 自己評価Ⅰ 事業の実施結果	【達成値】 1. 100% 2. ....	【達成状況】 1. 100% 2. ....	【具体的内容】 1. 計画した項目(〇〇、△△、□□、××)を全て調査できた。 2. ....
	注1	注2	注3	注4
② 自己評価Ⅱ 事業の成果・波及	1. 1万2千件 2. 無 3. ....	1. 120% 2. 0% 3. ....	1. HPにアップした調査報告書へのアクセス数は目標値を大幅に上回った。 2. 全員の中から、調査結果を利用した事業の展開は認められなかった。 3. ....	注3 注4
① 自己評価Ⅰ 事業の結果	1. 0回 2. 2回 3. 2回 4. 1回	1. なし 2. 100% 3. 100% 4. 100%	1. なし 2. 調査の中間報告と最終報告を全職員にメール配信し、情報共有を行った。 3. 調査の中間報告と最終報告を法人HPに掲載した。 4. 調査終了時、最終報告を機関紙〇月号に掲載した。	注5 注4
情報発信	競輪・オートレース補助金による事業であること	1. 0回 2. 2回 3. 2回 4. ....	1. なし 2. 100% 3. 100% 4. ....	注6 注4
① 自己評価Ⅰ 自己評価の体制※研究補助の場合は、「成果の利活用方法」を記入	注7	注4		

注1 達成値＝実績値です。事前計画(3/5)で設定した目標値と同じ単位のものが入ります。

注2 事前計画(3/5)の目標値に対する達成値の割合をパーセンテージで記入してください。

注3 実績の具体的内容を記入してください。また、達成値、達成状況が数値で表せなかった場合ややむを得ずスコアリングガイド通りには採点を行わなかった場合などは、その根拠を具体的に記入してください。

注4 P26.27のスコアリングガイドを基に採点してください。

注5 情報発信した内容の概要、使用した媒体、発信を行った日付等を記入してください。

注6 その事業が競輪・オートレースの補助金を得て実施されたものであると明示して情報発信した内容の概要、使用した媒体、発信を行った日付等を記入してください。

注7 自己評価の具体的な方法や手順、評価結果を公表したか否か、構成に第三者(外部委員など)が入ったのであればその旨記入してください。

注8 自己評価Ⅱの時点で、事前計画(2/5)に記載した「補助事業が最終的に目指すこと」の達成状況と、その達成状況と判断した根拠を併せて記入してください。

【調査・分析・研究開発】研究補助

別紙 JKA補助事業 平成25年度 事前計画／自己評価書(3/5)

#### 4. 補助事業の事前計画

補助事業				
(1) 受益者 (ニーズ)				
(2) 事業内容	事前計画(3/5)を振り返り、自己評価を実施してください。			
(3) 達成 目標	[指標]	[目標値]	[具体的内容]	
	事業の実施 結果	1. 事業の進捗状況 2. ....	1. 100% 2. ....	1. 事業完了直後のため、指標を事業の進捗状況とする。 2. ....
	事業の 成果・ 波及	1. 論文の発表予定の 件数 2. 研究結果の社会に おける活用 3. ....	1. 3件 2. 有 3. ....	1. 平成26年〇〇学会春季大会、平成26年△△学会秋季大会、□□学会で発表を行う。 2. 企業と共同研究を開始する。 3. ....
(4) 情報 発信	事業の 結果	1. パネル展示回数 2. 学内新聞掲載回数 3. HP掲載回数 4. 学会発表回数	1. 1回 2. 1回 3. 2回 4. 1回	1. オープンキャンパス時にパネル展示を行う。 2. 学内新聞の研究特集に研究内容の記事を載せる。 3. 研究の中間報告と最終報告をHPにアップする。 4. 昨年の研究内容とあわせ、平成25年××学会秋季大会で発表を行う。
	競輪・オート レース補助 金による 事業であ ること	1. パネル展示回数 2. 学内新聞掲載回数 3. HP掲載回数 4. 学会発表回数	1. 1回 2. 1回 3. 2回 4. ....	1～4. 上記1～4.に併せ、競輪・オートレース補助金による事業である旨を明示する。
(5) 自己評価の体制 ※研究補助の場合は、「成果の活用方法」を記入				

自己評価書に関するお問い合わせは、以下へお願いします。

補助事業部 企画・評価課

tel : 03-3512-1279

E-mail : [m25hyoka@keirin-autorace.or.jp](mailto:m25hyoka@keirin-autorace.or.jp) (研究補助)

## 別紙 JKA補助事業 平成25年度 事前計画／自己評価書(4/5)

## 5. 補助事業の自己評価

## (1) 総合評価

① 自己評価Ⅰ [事業終了直後に、(2)個別項目の評価から実施状				注4	
事業全体についての意見・所感					<b>指標が複数ある場合は、指標ごとにそれぞれ採点を付け、複数の指標の採点を平均して項目の採点をつけてください。</b> (例) 1. 4点(100%) 2. 1点(0%) 3. 5点(200%) 4. 4点(100%) $4点+1点+5点+4点/4=3.5 \div 4点$ <b>※割り切れない場合は整数に切り上げてください。</b>
優れている点・課題、改善すべき点					
その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点					
② 自己評価Ⅱ [平成26年記入ください]					
補助事業が最終的に目指すこと(課題の解決等)の達成状況及び今後の展望	注8				
この場合の達成状況の算出方法は以下の通りとなります。 3/5の目標値1.100%に対する4/5の達成値1.75%の割合 $\downarrow$ $75/100=75\%$					
達成目標	① 自己評価Ⅰ	注1	注2	注3	注4
事業の実施結果	1.75% 2. ....		1.75% 2. ....	1. ①〇〇変化率、②△△速度、③◇◇質量は初期の目標を満たす仕様となったが、④□□力は使用を満たせなかったため、設計は完成しなかった。 2. ....	
② 自己評価Ⅱ	注1	注2	注3	注4	
事業の成果・波及	1.3件 2. なし 3. ....		1.100% 2.0% 3. ....	1. 平成26年〇〇学会春季大会、平成26年△△学会秋季大会、□□学会発表を行った。△△学会からは論文投稿の推薦がきており、現在執筆中。 2. 企業から問い合わせはあったが、共同研究の開始には至らなかった。 3. ....	
情報発信	① 自己評価Ⅰ	注1	注2	注5	注4
事業の結果	1.1回 2.0回 3.4回 4.1回		1.100% 2.0% 3.200% 4.100%	1. オープンキャンパス時に目標と研究室前でパネル展示を行った。 2. 紙面の関係で学内新聞への研究内容の掲載はできなかった。 3. 研究の節目で中間報告を行った結果、HPへの記事の掲載は1回となった。 4. 平成25年××学会秋季大会で発表を行った。	
競輪・オートレース補助金による事業であること	注1	注2	注6	注4	
競輪・オートレース補助金による事業であること	1.1回 2.0回 3.4回 4. ....		1.100% 2.0% 3.200% 4. ....	1. オープンキャンパス時にパネル展示を行った際、競輪・オートレース補助金を受け、旨明示した。 2. 紙面の関係で学内新聞への研究内容の掲載はできなかった。 3. 研究の節目で中間報告を行った結果、HPへの記事の掲載は1回となり、その全てで競輪・オートレース補助金による研究であると明示した。 4. ....	
① 自己評価Ⅰ	注7				注4
自己評価の体制※研究補助の場合は、「成果の利活用方法」を記入					

注1 達成値＝実績値です。事前計画(3/5)で設定した目標値と同じ単位のものが入ります。

注2 事前計画(3/5)の目標値に対する達成値の割合をパーセンテージで記入してください。

注3 実績の具体的内容を記入してください。また、達成値、達成状況が数値で表せなかった場合ややむを得ずスコアリングガイド通りには採点を行わなかった場合などは、その根拠を具体的に記入してください。

注4 P28.29のスコアリングガイドを基に採点してください。

注5 情報発信した内容の概要、使用した媒体、発信を行った日付等を記入してください。

注6 その事業が競輪・オートレースの補助金を得て実施されたものであると明示して情報発信した内容の概要、使用した媒体、発信を行った日付等を記入してください。

注7 研究成果の利活用方法を具体的に記入してください。なお、自己評価Ⅰの時点では利活用の確認に至らない場合、自己評価Ⅱの時点で記入してください。

注8 自己評価Ⅱの時点で、事前計画(2/5)に記載した「補助事業が最終的に目指すこと」の達成状況と、その達成状況と判断した根拠を併せて記入してください。

# 【建築/補修】建築・補修

別紙 JKA補助事業 平成25年度 事前計画／自己評価書(3／5)

## 4. 補助事業の事前計画

補助事業			
(1) 受益者 (ニーズ)			
(2) 事業内容	<p>事前計画(3/5)を振り返り、自己評価を実施してください。</p>		
(3) 達成目標	事業の実施結果	[指標] 1. 工事完了時期 2. ....	[目標値] 1. 平成26年1月 2. ....
	事業の成果・波及	1. 施設稼働率 2. 利用者満足度 3. ....	1. 100% 2. 80% 3. ....
(4) 情報発信	事業の結果	1. 回覧回数 2. 掲示板掲示回数 3. HP掲載回数 4. 福祉新聞掲載回数	1. 2回 2. 3回 3. 2回 4. 1回
	競輪・オートレース補助金による事業であること	1. 回覧回数 2. 掲示板掲示回数 3. HP掲載回数 4. ....	1. 2回 2. 3回 3. 2回 4. ....
(5) 自己評価の体制 ※研究補助の場合は、「成果の活用方法」を記入			

自己評価書に関するお問い合わせは、以下へお願いします。

補助事業部 企画・評価課

tel : 03-3512-1279

E-mail : p25hyoka@keirin-autorace.or.jp (建築・補修)

別紙 JKA補助事業 平成25年度 事前計画／自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

(1) 総合評価

① 自己評価Ⅰ		[事業終了直後に、(2)個別項目の評価から実施]		注4 指標が複数ある場合は、指標ごとにそれぞれ評点を付け、複数の指標の評点を平均して項目の評点をつけてください。 (例) 1. 4点(100%) 2. 2点(67%) 3. 4点(100%) 4. 4点(100%) 4点+2点+4点+4点/4=3.5÷4点 ※割り切れない場合は整数に切り上げてください。																																																															
事業全体についての意見・所感		この場合の達成状況の算出方法は以下の通りとなります。 3/5の目標値1. 平成26年1月に対し、4/5の達成値1. 平成26年1月は遅れがなかったため、達成状況を100%とみなします。		採点 注4 の展望をこ																																																															
優れている点・課題、改善すべき点																																																																			
その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点																																																																			
② 自己評価Ⅱ		注8																																																																	
補助事業が最終的に目指すこと(課題の解決等)の達成状況及び今後の展望																																																																			
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>[達成値]</td> <td>[達成状況]</td> <td>[具体的内容]</td> <td></td> <td>採点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">達成目標</td> <td>① 自己評価Ⅰ</td> <td>注1</td> <td>注2</td> <td rowspan="2">1. 台風の影響により工事が中断した時期もあったが、大きな遅れなく工事を完了した。予定通り、4月に〇〇ホーム入所者から6名、地域で生活している方から2名の利用が決定している。 2. ....</td> <td>注3</td> <td>注4</td> </tr> <tr> <td>事業の実施結果</td> <td>1. 平成26年1月 2. ....</td> <td>1. 100% 2. ....</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">達成目標</td> <td>② 自己評価Ⅱ</td> <td>注1</td> <td>注2</td> <td rowspan="2">1. 1年の間に1名の退所が出ており、現在は7名入居、空室1の状態。空室1は体 験入居で利用を行っている。 2. 入居者7名にヒアリングを行ったところ、7名中6名が当グループホームでの生活に満足しているとの回答を得た。1名の入居者から、畳部屋を希望する意見があった。 3. ....</td> <td>注3</td> <td>注4</td> </tr> <tr> <td>事業の成果・波及</td> <td>1. 88% 2. 86% 3. ....</td> <td>1. 88% 2. 108% 3. ....</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">情報発信</td> <td>① 自己評価Ⅰ</td> <td>注1</td> <td>注2</td> <td rowspan="2">1. 着工前と工事完了後に回覧し、グループホーム建築と障害者への配慮を促した。 2. 着工前・工事中・工事完了後に掲示板で進捗報告と完成報告を掲載した。 3. 法人HPにグループホーム着工のお知らせと完成のお知らせを掲載した。 4. 福祉新聞にグループホーム完成の記事を掲載した。</td> <td>注5</td> <td>注4</td> </tr> <tr> <td>事業の結果</td> <td>1. 2/回 2. 2/回 3. 2/回 4. 1/回</td> <td>1. 100% 2. 67% 3. 100% 4. 100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">情報発信</td> <td>競輪・オートレース補助金による事業であること</td> <td>注1</td> <td>注2</td> <td rowspan="2">1. .... 上記の全てで、当該事業は競輪・オートレースの補助金を受けて実施したものである旨を明示した。</td> <td>注6</td> <td>注4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1. 2/回 2. 2/回 3. 2/回 4. ....</td> <td>1. 100% 2. 67% 3. 100% 4. ....</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">① 自己評価Ⅰ</td> <td colspan="2">注7</td> <td colspan="2">採点 注4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">自己評価の体制※研究補助の場合は、「成果の活用方法」を記入</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>							[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]		採点	達成目標	① 自己評価Ⅰ	注1	注2	1. 台風の影響により工事が中断した時期もあったが、大きな遅れなく工事を完了した。予定通り、4月に〇〇ホーム入所者から6名、地域で生活している方から2名の利用が決定している。 2. ....	注3	注4	事業の実施結果	1. 平成26年1月 2. ....	1. 100% 2. ....		達成目標	② 自己評価Ⅱ	注1	注2	1. 1年の間に1名の退所が出ており、現在は7名入居、空室1の状態。空室1は体 験入居で利用を行っている。 2. 入居者7名にヒアリングを行ったところ、7名中6名が当グループホームでの生活に満足しているとの回答を得た。1名の入居者から、畳部屋を希望する意見があった。 3. ....	注3	注4	事業の成果・波及	1. 88% 2. 86% 3. ....	1. 88% 2. 108% 3. ....		情報発信	① 自己評価Ⅰ	注1	注2	1. 着工前と工事完了後に回覧し、グループホーム建築と障害者への配慮を促した。 2. 着工前・工事中・工事完了後に掲示板で進捗報告と完成報告を掲載した。 3. 法人HPにグループホーム着工のお知らせと完成のお知らせを掲載した。 4. 福祉新聞にグループホーム完成の記事を掲載した。	注5	注4	事業の結果	1. 2/回 2. 2/回 3. 2/回 4. 1/回	1. 100% 2. 67% 3. 100% 4. 100%		情報発信	競輪・オートレース補助金による事業であること	注1	注2	1. .... 上記の全てで、当該事業は競輪・オートレースの補助金を受けて実施したものである旨を明示した。	注6	注4		1. 2/回 2. 2/回 3. 2/回 4. ....	1. 100% 2. 67% 3. 100% 4. ....		① 自己評価Ⅰ		注7		採点 注4		自己評価の体制※研究補助の場合は、「成果の活用方法」を記入					
	[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]		採点																																																														
達成目標	① 自己評価Ⅰ	注1	注2	1. 台風の影響により工事が中断した時期もあったが、大きな遅れなく工事を完了した。予定通り、4月に〇〇ホーム入所者から6名、地域で生活している方から2名の利用が決定している。 2. ....	注3	注4																																																													
	事業の実施結果	1. 平成26年1月 2. ....	1. 100% 2. ....																																																																
達成目標	② 自己評価Ⅱ	注1	注2	1. 1年の間に1名の退所が出ており、現在は7名入居、空室1の状態。空室1は体 験入居で利用を行っている。 2. 入居者7名にヒアリングを行ったところ、7名中6名が当グループホームでの生活に満足しているとの回答を得た。1名の入居者から、畳部屋を希望する意見があった。 3. ....	注3	注4																																																													
	事業の成果・波及	1. 88% 2. 86% 3. ....	1. 88% 2. 108% 3. ....																																																																
情報発信	① 自己評価Ⅰ	注1	注2	1. 着工前と工事完了後に回覧し、グループホーム建築と障害者への配慮を促した。 2. 着工前・工事中・工事完了後に掲示板で進捗報告と完成報告を掲載した。 3. 法人HPにグループホーム着工のお知らせと完成のお知らせを掲載した。 4. 福祉新聞にグループホーム完成の記事を掲載した。	注5	注4																																																													
	事業の結果	1. 2/回 2. 2/回 3. 2/回 4. 1/回	1. 100% 2. 67% 3. 100% 4. 100%																																																																
情報発信	競輪・オートレース補助金による事業であること	注1	注2	1. .... 上記の全てで、当該事業は競輪・オートレースの補助金を受けて実施したものである旨を明示した。	注6	注4																																																													
		1. 2/回 2. 2/回 3. 2/回 4. ....	1. 100% 2. 67% 3. 100% 4. ....																																																																
① 自己評価Ⅰ		注7		採点 注4																																																															
自己評価の体制※研究補助の場合は、「成果の活用方法」を記入																																																																			

注1 達成値＝実績値です。事前計画(3/5)で設定した目標値と同じ単位のものが入ります。

注2 事前計画(3/5)の目標値に対する達成値の割合をパーセンテージで記入してください。

注3 実績の具体的内容を記入してください。また、達成値、達成状況が数値で表せなかった場合ややむを得ずスコアリングガイド通りには採点を行わなかった場合などは、その根拠を具体的に記入してください。

注4 P26.27のスコアリングガイドを基に採点してください。

注5 情報発信した内容の概要、使用した媒体、発信を行った日付等を記入してください。

注6 その事業が競輪・オートレースの補助金を得て実施されたものであると明示して情報発信した内容の概要、使用した媒体、発信を行った日付等を記入してください。

注7 自己評価の具体的な方法や手順、評価結果を公表したか否か、構成に第三者(外部委員など)が入ったのであればその旨記入してください。

注8 自己評価Ⅱの時点で、事前計画(2/5)に記載した「補助事業が最終的に目指すこと」の達成状況と、その達成状況と判断した根拠を併せて記入してください。

【震災関連・非常災害〈拠点づくり・生活支援活動・自立支援活動〉】東日本大震災復興支援

別紙 JKA補助事業 平成25年度 事前計画／自己評価書(3/5)

4. 補助事業の事前計画

補助事業				
(1) 受益者 (ニーズ)				
(2) 事業内容	<p>事前計画(3/5)を振り返り、自己評価を実施してください。</p>			
(3) 達成目標	事業の実施結果	<p>【指標】</p> <p>1.実施回数 2.参加者数 3.参加者の満足度 4. ....</p>	<p>【目標値】</p> <p>1.7回 2.延べ210人 3.80% 4. ....</p>	<p>【具体的内容】</p> <p>1.北海道、東北、関東、東海、関西、中四国、九州の7地区で拠点づくりを行い。震災時の全国ネットワークを構築するため、支部を創設するための集いを開く。 2.1カ所平均30人の参加を募り、実施する。 3.会場ごとにアンケートを行い、80%の回答者から『今後の活動に期待できる』の回答を得る。</p>
	事業の成果・波及	<p>1.拠点づくり講習会開催地数 2. ....</p>	<p>1.47都道府県 2. ....</p>	<p>1.7地区で行った集いの参加者が、補助事業で作成したマニュアルを使用した講習会を各都道府県で開催し、拠点づくりのノウハウを広める。 2. ....</p>
(4) 情報発信	事業の結果	<p>【指標】</p> <p>1.市広報掲載回数 2.メール配信回数 3.HP掲載回数 4.街頭でのチラシ配布回数</p>	<p>【目標値】</p> <p>1.7回 2.14回 3.7回 4.7回</p>	<p>【具体的内容】</p> <p>1.開催ごとに各会場の市広報へ告知を行うとともに、拠点づくりについての記事を掲載し、情報発信を行う。 2.各開催の前後に事業内容のメール配信を行い、全スタッフで情報を共有する。 3.各開催後に、HP上で実施内容の報告を行い、全国から閲覧可能にする。 4.各開催ごとに、NPOだけでなく一般市民からも参加を得るため、街頭でチラシを配布する。</p>
	競輪・オートレース補助金による事業であること	<p>1.市広報掲載回数 2.メール配信回数 3.HP掲載回数 4. ....</p>	<p>1.7回 2.14回 3.7回 4. ....</p>	<p>1～4. 上記1～4に併せ、当事業は、競輪・オートレース補助金による事業である旨を明示する。</p>
(5) 自己評価の体制 ※研究補助の場合は、「成果の利活用方法」を記入				

自己評価書に関するお問い合わせは、以下へお願いします。

補助事業部 企画・評価課

tel : 03-3512-1279

E-mail : p25hyoka@keirin-autorace.or.jp (東日本大震災復興支援)

東日本大震災復興支援【<拠点づくり・生活支援活動・自立支援活動>震災関連・非常災害】

別紙 JKA補助事業 平成25年度 事前計画／自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

(1) 総合評価

① 自己評価Ⅰ [事業終了直後に、(2)個別項目の評価から実施]				注4 指標が複数ある場合は、指標ごとにそれぞれ採点を付け、複数の指標の採点を平均して項目の採点をつけてください。 (例) 1. 4点(100%) 2. 4点(100%) 3. 4点(100%) 4. 3点(86%) 4点+4点+4点+3点/4=3.75≒4点 ※割り切れない場合は整数に切り上げてください。	
事業全体についての意見・所感					
優れている点・課題、改善すべき点					
その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点					
② 自己評価Ⅱ [平成25年度記入]					
補助事業が最終的に目指すこと(課題の解決等)の達成状況及び今後の展望	注8				
<p>この場合の達成状況の算出方法は以下の通りとなります。 3/5の目標値1.210人に対する 4/5の達成値1.250人の割合 ↓ 達成値/目標値＝達成状況 250/210＝119%</p>					
達成目標	① 自己評価Ⅰ	② 自己評価Ⅱ	③ 自己評価Ⅲ	④ 自己評価Ⅳ	⑤ 自己評価Ⅴ
事業の実施結果	1.7回 2.250人 3.75% 4. ....	注1	注2	注3	注4
事業の成果・波及	1.45都道府県 2. ....	注1	注2	注3	注4
情報発信	1.7回 2.14回 3.7回 4.6回	注1	注2	注3	注4
競輪・オートレース補助金による事業であること	1.7回 2.14回 3.7回 4. ....	注1	注2	注3	注4
① 自己評価Ⅰ 自己評価の体制※研究補助の場合は、「成果の利活用方法」を記入	注7				注4

注1 達成値＝実績値です。事前計画(3/5)で設定した目標値と同じ単位のものが入ります。

注2 事前計画(3/5)の目標値に対する達成値の割合をパーセンテージで記入してください。

注3 実績の具体的な内容を記入してください。また、達成値、達成状況が数値で表せなかった場合ややむを得ずスコアリングガイド通りには採点を行わなかった場合などは、その根拠を具体的に記入してください。

注4 P26.27のスコアリングガイドを基に採点してください。

注5 情報発信した内容の概要、使用した媒体、発信を行った日付等を記入してください。

注6 その事業が競輪・オートレースの補助金を得て実施されたものであると明示して情報発信した内容の概要、使用した媒体、発信を行った日付等を記入してください。

注7 自己評価の具体的な方法や手順、評価結果を公表したか否か、構成に第三者(外部委員など)が入ったのであればその旨記入してください。

注8 自己評価Ⅱの時点で、事前計画(2/5)に記載した「補助事業が最終的に目指すこと」の達成状況と、その達成状況と判断した根拠を併せて記入してください。

【震災関連・非常災害〈記録活動・調査活動・復興活動〉】東日本大震災復興支援

別紙 JKA補助事業 平成25年度 事前計画／自己評価書(3/5)

4. 補助事業の事前計画

補助事業				
(1) 受益者 (ニーズ)				
(2) 事業内容	<p>事前計画(3/5)を振り返り、自己評価を実施してください。</p>			
(3) 達成目標	事業の実施結果	1. 事業の進捗状況 2. 試写会参加者の『評価する』の回答率	1. 100% 2. 80%	2. ○○地区の住民30人と東京在住者30人に試写会に参加して頂き、試写会を行う。試写会参加者の80%以上から、調査記録を『評価する』の回答を得る。
	事業の成果・波及	1. 映像記録の上映会参加者数 2. ....	1. 5000人 2. ....	1. 補助事業で作成した記録映像の上映会を47都道府県の大学で開催し、震災の記憶を風化させず、震災について改めて考える機会をつくる。1カ所100人を目標に目標値を算出した。 2. ....
(4) 情報発信	事業の結果	1. 上映会開催数 2. メール配信回数 3. HPへの掲載回数 4. ....	1. 2回 2. 2回 3. 3回 4. ....	1. 記録活動を行った現地(福島)と、法人事務所(東京)で試写会を行う。 2. 全スタッフに向け、現地と事務所で上映会を行うことを周知する。 3. 記録活動の中間報告と上映会(現地・事務所)の内容をHPで掲載する。 4. ....
	競輪・オートレース補助金による事業であること	1. 上映会開催数 2. メール配信回数 3. HPへの掲載回数 4. ....	1. 2回 2. 2回 3. 3回 4. ....	1. 上映会場にてRING!RING!プロジェクトポスター掲示、又上映前に告知する。 2. メーリングリストでの情報共有の際、競輪・オートレース補助金による事業であることを明示する。 3. HPで記録活動の中間報告と上映会の内容を掲載する際、競輪・オートレース補助金による事業であることを明示する。 4. ....
(5) 自己評価の体制 ※研究補助の場合は、「成果の利活用方法」を記入				

自己評価書に関するお問い合わせは、以下へお願いします。

補助事業部 企画・評価課

tel : 03-3512-1279

E-mail : p25hyoka@keirin-autorace.or.jp (東日本大震災復興支援)



東日本大震災復興支援【<記録活動・調査活動・復興活動>震災関連・非常災害】

別紙 JKA補助事業 平成25年度 事前計画／自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

(1) 総合評価

① 自己評価Ⅰ [事業終了直後に、(2)個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。]				
事業全体についての意見・所感				
優れている点・課題、改善すべき点				
その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点				
② 自己評価Ⅱ [平成26年度を記入してください]				
補助事業が最終的に目指すこと(課題の解決等)の達成状況及び今後の展望				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px;"> <p><b>注4</b> 指標が複数ある場合は、指標ごとにそれぞれ評点を付け、複数の指標の評点を平均して項目の評点を付けてください。 (例) 1. 4点(100%) 2. 3点(94%) 4点+3点/2=3.5≒4点 ※割り切れない場合は整数に切り上げてください。</p> </div>				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px;"> <p>この場合の達成状況の算出方法は以下の通りとなります。 3/5の目標値1. 80%に対する 4/5の達成値1. 75%の割合 ↓ 達成値/目標値＝達成状況 75/80＝94%</p> </div>				
達成目標	① 自己評価Ⅰ	② 自己評価Ⅱ	③ 自己評価Ⅲ	④ 自己評価Ⅳ
事業の実施結果	1.100% 2.75%	1.100% 2.94%	1.100% 2.94%	1.100% 2.94%
事業の成果・波及	1.3760人 2. ....	1.75% 2. ....	1.75% 2. ....	1.75% 2. ....
事業の結果	1.2回 2.2回 3.3回 4. ....	1.100% 2.100% 3.100% 4. ....	1.100% 2.100% 3.100% 4. ....	1.100% 2.100% 3.100% 4. ....
競輪・オートレース補助金による事業であること	1.2回 2.2回 3.3回 4. ....	1.100% 2.100% 3.100% 4. ....	1.100% 2.100% 3.100% 4. ....	1.100% 2.100% 3.100% 4. ....
① 自己評価Ⅰ 自己評価の体制※研究補助の場合は、「成果の利活用方法」を記入	注7			

注1 達成値＝実績値です。事前計画(3/5)で設定した目標値と同じ単位のものが入ります。

注2 事前計画(3/5)の目標値に対する達成値の割合をパーセンテージで記入してください。

注3 実績の具体的内容を記入してください。また、達成値、達成状況が数値で表せなかった場合ややむを得ずスコアリングガイド通りには採点を行わなかった場合などは、その根拠を具体的に記入してください。

注4 P26.27のスコアリングガイドを基に採点してください。

注5 情報発信した内容の概要、使用した媒体、発信を行った日付等を記入してください。

注6 その事業が競輪・オートレースの補助金を得て実施されたものであると明示して情報発信した内容の概要、使用した媒体、発信を行った日付等を記入してください。

注7 自己評価の具体的な方法や手順、評価結果を公表したか否か、構成に第三者(外部委員など)が入ったのであればその旨記入してください。

注8 自己評価Ⅱの時点で、事前計画(2/5)に記載した「補助事業が最終的に目指すこと」の達成状況と、その達成状況と判断した根拠を併せて記入してください。

# 【事前計画／自己評価書（5／5）事業の促進・阻害要因の自己分析】 記入例

＜交付申請＞

## JKA補助事業 平成25年度 事前計画／自己評価書（5／5）

（3）事業の促進・阻害要因の自己分析 （① 自己評価 I に併せて実施してください。）

● 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)～(15)の「促進」または「阻害」欄に「＊」を記し、要因の内容を(a) 欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを(b) 欄に、それぞれの要因分類の番号(1)～(15)を付して、具体的にご記入ください。

● 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「＊」を記し、その理由をご記入ください。

事業の促進・阻害要因の自己分析						
	促進	阻害	要因分類	(a) 促進または阻害要因の具体的な内容	(b) 対応、今後この分析結果をどう活かすか。	
事業終了後に自己評価を実施してください。	内部要因		(1) 経費	(2)事前計画では、4月に実行委員会を立ち上げ、月2回の委員会開催を予定していたが、当団体理事長が急遽変更になったため実行委員会の立ち上げが5月になってしまった。	(2)実行委員会を集中的に開催し、高い協力体制で事業を推進した。	
			＊	(2) 実施体制 (人員、関係機関の協力等の確保)		(5)先進地域の視察を行いアドバイスを受けたことで、スムーズに運営を行う事が出来た。
				(3) 資材調達 (事業実施に必要な物資等の確保)		
				(4) 実施期間 (事業終了までに要する期間)		
			＊	(5) 事業運営のノウハウ(進捗管理、資金管理等)		
				(6) 設計仕様の変更(主に建築)		
				(7) その他		
外部要因			(8) 受益者の規模・ニーズ	(9)地域内の2カ所のスポーツクラブ、及び障がい者支援組織と連携し参加者募集を行う事で、当初の計画以上に数多くの場所と人に開催告知を行う事が出来た。		
		＊	(9) 実施体制以外の団体等の協力・支援			
			(10) 関連法制度の変更			
			(11) 利害関係者(受益者以外)の要望への対応			
			(12) 災害の発生(地震、洪水等)			
			(13) 同様の技術開発			
			(14) 競合するサービス・事業の出現			
			(15) その他			
		(16)				

## 作成の注意事項

(1) 左ページの記入例を参考に、事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因の自己分析を実施し、「事前計画／自己評価書(5／5)」に記入してください。

(自己評価にあたってはP4～6の「Ⅲ 自己評価の実施」もご参照ください。)

※ 自己評価Ⅰに併せて、補助事業完了後速やかに実施してください。

(2) 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)～(15)の「促進」または「阻害」欄に「＊」を記し、要因の内容を(a)欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを(b)欄に、それぞれの要因分類の番号(1)～(15)を付して、具体的に記入してください。

(3) 促進または阻害要因が無い場合には、(16)の欄に「＊」を記してください。

※該当しない要因については記入は不要です。

該当すると思うものにのみ「＊」を付し、該当番号を文頭に付して、右枠内に具体的内容を記入してください。

# V 平成25年度 JKA補助事業「自己評価スコアリングガイド」

標準※研究補助除く

《 計画通り、問題なく事業が実施でき、予定通りの成果が上げられれば、評価点は「4」点となります。》

総合評価	5	全体として極めて高いレベルの事業であった。	
	4	全体として比較的高いレベルの事業であった。	
	3	一部に不十分な水準の内容があり、今後の課題となるが、全体としてはほぼ問題のないレベルの事業であった。	
	2	全体として不十分なレベルの事業であり、いくつかの課題が残った。	
	1	全体として極めて不十分なレベルの事業であり、根本的な見直しが必要である。	
(1) 受益者(ニーズ)	5	受益対象者、ニーズの想定は適切であり、当該受益者のニーズに沿った適切な事業を実施することができた。また加えて、想定した受益者を超えて、補助事業の効果が大きな広がりを見せている。	
	4	受益対象者、ニーズの想定は適切であり、当該受益者のニーズに沿った適切な事業を実施することができた。	
	3	受益対象者、ニーズの想定は適切であり、一部変更はあるものの当該受益者のニーズにほぼ沿った事業を実施することができた。	
	2	受益対象者、ニーズの想定の一部に誤りがあり、計画変更が必要であった。または、受益対象者、ニーズの想定は適切であったものの、計画に問題があり当該受益者のニーズに対応するために、大幅な計画変更が必要であった。	
	1	受益対象者、ニーズの想定に大きな誤りがあった。または、受益対象者、ニーズの想定に誤りがなかったものの、本事業の内容との齟齬が大きく、計画変更を行っても当該受益者のニーズに対応することができなかった。	
(2) 事業内容	事業の新規性 (新たな発想による、または新分野への取組み)または継続の必要性	5	【新規性】 事前計画で予定した以上の新規性があった。又は他にない取組を行うことができた。 【継続の必要性】 事前計画で想定した以上の必要性があった。
		4	【新規性】 事前計画で予定した通りの十分な新規性があった。 【継続の必要性】 事業計画で想定した通りの十分な必要性があった。
		3	【新規性】 事前計画の予定を下回ったが、ある程度の新規性はあった。 【継続の必要性】 事業計画の想定を下回ったが、ある程度の必要性があった。
		2	【新規性】 新規性は乏しかった。 【継続の必要性】 必要性は乏しかった。
		1	【新規性】 新規性は無かった。 【継続の必要性】 必要性は無かった。
	事業の発展性 (事業完了後に想定される効果等)	5	事前計画の想定を上回る、具体的な効果等があった。
		4	事前計画の想定通りの、具体的な効果等があった。
		3	事前計画の想定は若干下回ったが、具体的な効果等があった。
		2	事前計画で想定したレベルにはまだ至っていないが、具体的な効果等が発現する十分な見込みがある。
		1	具体的な効果等の発現は難しい。
	実施計画・体制	5	事前計画は、内容及び結果・成果からみて妥当な計画(実施手法・スケジュール・コスト・体制)であった。また、実施過程における更なる創意工夫により、スケジュール面、コスト面等で事前計画を超える事業を実施することができた。
		4	事前計画は、内容及び結果・成果からみて妥当な計画(実施手法・スケジュール・コスト・体制)であった。また、事前計画通りに円滑、効果的かつ効率的に事業を実施できた。
		3	事前計画の実施手法、実施体制で若干不十分な部分があり、修正が必要であったが、ほぼ支障なく事業を実施できた。
		2	事前計画に不十分な部分(実施手法・スケジュール・コスト・体制)があり、コストの増加、スケジュールの遅延等で計画変更を余儀なくされた。
		1	事前計画またはその実施過程に問題があり、コストの大幅な増加が生じた。【事前計画の50%以上の増加】 またはスケジュールの大幅な遅延(事業の完了が平成26年3月31日を越える)が生じた。

《 計画通り、問題なく事業が実施でき、予定通りの成果が上げられれば、評価点は「4」点となります。》

(3) 達成 目標	事業の 実施 結果	5	事前計画の目標値を大きく上回って達成することができた。【達成状況120%以上】
		4	事前計画の目標値を達成することができた。【達成状況100%以上～120%未満】
		3	事前計画の目標値をやや下回った。【達成状況80%以上～100%未満】
		2	事前計画の目標値を下回った。【達成状況60%以上～80%未満】
		1	事前計画の目標値を大幅に下回った。【達成状況60%未満】 または、達成値が明確でなく達成状況が判定できない。
	事業の 成果・ 波及	5	事前計画の目標値を大きく上回って達成することができた。【達成状況120%以上】 または、目標値の達成【達成状況100%以上】に加えて、想定外の成果の波及効果があった。
		4	事前計画の目標値を達成(達成状況100%以上～120%未満)することができた。または、目標値をやや下回った(達成状況80%以上～100%未満)が、想定外の成果の波及効果があった。
		3	事前計画の目標値をやや下回った。【達成状況80%以上～100%未満】 または、目標値を下回った【達成状況60%以上～80%未満】が、想定外の成果の波及効果があった。
		2	事前計画の目標値を下回った。【達成状況60%以上～80%未満】
		1	事前計画の目標値を大幅に下回った。【達成状況60%未満】 または達成値が明確でなく達成状況が判定できない。
(4) 情報 発信	事業の 結果	5	事前計画の目標値を大きく上回って達成することができた。【達成状況120%以上】 または、目標値の達成【達成状況100%以上】に加えて、外部の大きな反響または高い評価を受けた。(表彰、専門誌・新聞等に取り上げられるなど)
		4	事前計画の目標値を達成することができた。【達成状況100%以上～120%未満】 または、目標値をやや下回った【達成状況80%以上～100%未満】が、追加的に、計画外の手法(自ら行うもの又は外部機関が行うもの)で広報を行うことができた。
		3	事前計画の目標値をやや下回った。【達成状況80%以上～100%未満】 または、目標値を下回った【達成状況60%以上～80%未満】が、追加的に、計画外の手法(自ら行うもの又は外部機関が行うもの)で広報を行うことができた。
		2	事前計画の目標値を下回った。【達成状況60%以上～80%未満】
		1	事前計画の目標値を大幅に下回った。【達成状況60%未満】 または、達成値が明確でなく達成状況が判定できない。
	競輪・オート レース補助金 による事業 であること	5	事前計画の目標値を大きく上回って達成することができた。【達成状況120%以上】 または、目標値の達成【達成状況100%以上】に加えて、計画外の自らのオリジナルな手法で広報を実施、または外部機関(新聞等)に大きく取り上げられた。
		4	事前計画の目標値を達成することができた。【達成状況100%以上～120%未満】 または、目標値をやや下回った【達成状況80%以上～100%未満】が、追加的に、計画外の手法(自ら行うもの又は外部機関が行うもの)で広報を行うことができた。
		3	事前計画の目標値をやや下回った。【達成状況80%以上～100%未満】 または、目標値を下回った【達成状況60%以上～80%未満】が、追加的に、計画外の手法(自ら行うもの又は外部機関が行うもの)で広報を行うことができた。
		2	事前計画の目標値を下回った。【達成状況60%以上～80%未満】
		1	事前計画の目標値を大幅に下回った。【達成状況60%未満】 または、達成値が明確でなく達成状況が判定できない。
(5) 自己評価の体制		5	外部委員が参加する評価委員会で評価が実施され、記録(議事録)から評価過程等が確認できる。
		4	団体内部に組織された評価委員会で評価が実施され、記録(議事録等)から評価過程等が確認できる。または、委員会形式ではないが、何らかのかたちで利用者や参加者などの幅広い関係者、外部の第三者が加わった評価を実施し、記録(議事録等)から評価過程等が確認できる。
		3	委員会形式ではないが自らの事務局内部に組織上の評価体制があり、記録(議事録等)から同体制で実施された評価過程等が確認できる。
		2	本事業の担当者が単独で評価し、団体責任者が決裁するなど、評価について議論する場が設定されていないが、評価過程等が記録で確認できる。
		1	担当者のみで評価した。または、議事録など、評価の実施過程等を示す記録がない。

# 平成25年度 JKA補助事業「自己評価スコアリングガイド」

## 研究補助用

《 計画通り、問題なく事業が実施でき、予定通りの成果が上げられれば、評価点は「4」点となります。》

総合評価	5	全体として極めて高いレベルの事業であった。	
	4	全体として比較的高いレベルの事業であった。	
	3	一部に不十分な水準の内容があり、今後の課題となるが、全体としてはほぼ問題のないレベルの事業であった。	
	2	全体として不十分なレベルの事業であり、いくつかの課題が残った。	
	1	全体として極めて不十分なレベルの事業であり、根本的な見直しが必要である。	
(1) 受益者(ニーズ)	5	受益対象者、ニーズの想定は適切であり、当該受益者のニーズに沿った適切な事業を実施することができた。また加えて、想定した受益者を超えて、補助事業の効果が大きな広がりを見せている。	
	4	受益対象者、ニーズの想定は適切であり、当該受益者のニーズに沿った適切な事業を実施することができた。	
	3	受益対象者、ニーズの想定は適切であり、一部変更はあるものの当該受益者のニーズにほぼ沿った事業を実施することができた。	
	2	受益対象者、ニーズの想定の一部に誤りがあり、計画変更が必要であった。または、受益対象者、ニーズの想定は適切であったものの、計画に問題があり当該受益者のニーズに対応するために、大幅な計画変更が必要であった。	
	1	受益対象者、ニーズの想定に大きな誤りがあった。または、受益対象者、ニーズの想定に誤りがなかったものの、本事業の内容との齟齬が大きく、計画変更を行っても当該受益者のニーズに対応することができなかった。	
(2) 事業内容	事業の新規性 (新たな発想による、または新分野への取組み)または継続の必要性	5	【新規性】 事前計画で予定した以上の新規性があった。又は他にない取組を行うことができた。 【継続の必要性】 事前計画で想定した以上の必要性があった。
		4	【新規性】 事前計画で予定した通りの十分な新規性があった。 【継続の必要性】 事業計画で想定した通りの十分な必要性があった。
		3	【新規性】 事前計画の予定を下回ったが、ある程度の新規性はあった。 【継続の必要性】 事業計画の想定を下回ったが、ある程度の必要性があった。
		2	【新規性】 新規性は乏しかった。 【継続の必要性】 必要性は乏しかった。
		1	【新規性】 新規性は無かった。 【継続の必要性】 必要性は無かった。
	事業の発展性 (事業完了後に想定される効果等)	5	事前計画の想定を上回る、具体的な効果等があった。
		4	事前計画の想定通りの、具体的な効果等があった。
		3	事前計画の想定は若干下回ったが、具体的な効果等があった。
		2	事前計画で想定したレベルにはまだ至っていないが、具体的な効果等が発現する十分な見込みがある。
		1	具体的な効果等の発現は難しい。
	実施計画・体制	5	事前計画は、内容及び結果・成果からみて妥当な計画(実施手法・スケジュール・コスト・体制)であった。また、実施過程における更なる創意工夫により、スケジュール面、コスト面等で事前計画を超える事業を実施することができた。
		4	事前計画は、内容及び結果・成果からみて妥当な計画(実施手法・スケジュール・コスト・体制)であった。また、事前計画通りに円滑、効果的かつ効率的に事業を実施できた。
		3	事前計画の実施手法、実施体制で若干不十分な部分があり、修正が必要であったが、ほぼ支障なく事業を実施できた。
		2	事前計画に不十分な部分(実施手法・スケジュール・コスト・体制)があり、コストの増加、スケジュールの遅延等で計画変更を余儀なくされた。
		1	事前計画またはその実施過程に問題があり、コストの大幅な増加が生じた。【事前計画の50%以上の増加】 またはスケジュールの大幅な遅延(事業の完了が平成26年3月31日を越える)が生じた。

《 計画通り、問題なく事業が実施でき、予定通りの成果が上げられれば、評価点は「4」点となります。》

(3) 達成 目標	事業の 実施 結果	5	事前計画の目標値を大きく上回って達成することができた。【達成状況120%以上】
		4	事前計画の目標値を達成することができた。【達成状況100%以上～120%未満】
		3	事前計画の目標値をやや下回った。【達成状況80%以上～100%未満】
		2	事前計画の目標値を下回った。【達成状況60%以上～80%未満】
		1	事前計画の目標値を大幅に下回った。【達成状況60%未満】 または、達成値が明確でなく達成状況が判定できない。
	事業の 成果・ 波及	5	事前計画の目標値を大きく上回って達成することができた。【達成状況120%以上】 または、目標値の達成【達成状況100%以上】に加えて、想定外の成果の波及効果があった。
		4	事前計画の目標値を達成(達成状況100%以上～120%未満)することができた。または、目標値をやや下回った(達成状況80%以上～100%未満)が、想定外の成果の波及効果があった。
		3	事前計画の目標値をやや下回った。【達成状況80%以上～100%未満】 または、目標値を下回った【達成状況60%以上～80%未満】が、想定外の成果の波及効果があった。
		2	事前計画の目標値を下回った。【達成状況60%以上～80%未満】
		1	事前計画の目標値を大幅に下回った。【達成状況60%未満】 または達成値が明確でなく達成状況が判定できない。
(4) 情報 発信	事業の 結果	5	事前計画の目標値を大きく上回って達成することができた。【達成状況120%以上】 または、目標値の達成【達成状況100%以上】に加えて、外部の大きな反響または高い評価を受けた。(表彰、専門誌・新聞等に取り上げられるなど)
		4	事前計画の目標値を達成することができた。【達成状況100%以上～120%未満】 または、目標値をやや下回った【達成状況80%以上～100%未満】が、追加的に、計画外の手法(自ら行うもの又は外部機関が行うもの)で広報を行うことができた。
		3	事前計画の目標値をやや下回った。【達成状況80%以上～100%未満】 または、目標値を下回った【達成状況60%以上～80%未満】が、追加的に、計画外の手法(自ら行うもの又は外部機関が行うもの)で広報を行うことができた。
		2	事前計画の目標値を下回った。【達成状況60%以上～80%未満】
		1	事前計画の目標値を大幅に下回った。【達成状況60%未満】 または、達成値が明確でなく達成状況が判定できない。
	競輪・オート レース補助金 による事業 であること	5	事前計画の目標値を大きく上回って達成することができた。【達成状況120%以上】 または、目標値の達成【達成状況100%以上】に加えて、計画外の自らのオリジナルな手法で広報を実施、または外部機関(新聞等)に大きく取り上げられた。
		4	事前計画の目標値を達成することができた。【達成状況100%以上～120%未満】 または、目標値をやや下回った【達成状況80%以上～100%未満】が、追加的に、計画外の手法(自ら行うもの又は外部機関が行うもの)で広報を行うことができた。
		3	事前計画の目標値をやや下回った。【達成状況80%以上～100%未満】 または、目標値を下回った【達成状況60%以上～80%未満】が、追加的に、計画外の手法(自ら行うもの又は外部機関が行うもの)で広報を行うことができた。
		2	事前計画の目標値を下回った。【達成状況60%以上～80%未満】
		1	事前計画の目標値を大幅に下回った。【達成状況60%未満】 または、達成値が明確でなく達成状況が判定できない。
(5) 成果の利活用方法		5	事前計画の予定・想定を上回る、具体的な成果の利活用があった。
		4	事前計画の予定・想定通りの、具体的な成果の利活用があった。
		3	事前計画の予定・想定は若干下回ったが、具体的な成果の利活用があった。
		2	事前計画の予定・想定した利活用にはまだ至っていないが、十分な見込みがある。
		1	具体的な成果の利活用の実現は難しい。

# (書式見本) 事前計画／自己評価書 (1/5)～(3/5)

## 補助金交付申請時に作成

(1/5)

(2/5)

### 1. 申請事業者

<交付申請>  
別紙・JKA補助事業 平成25年度 事前計画／自己評価書(1/5)

1. 申請事業者

法人格 法人格取得	法人格取得	所属部署 (役職名)	氏名
名称	住所	代表 担当者	代表 担当者
代表者氏名 (役職名)	代表者氏名 (役職名)	代表 担当者	代表 担当者
団体の 使命・目的	代表者氏名 (役職名)	代表 担当者	代表 担当者
これまでの 活動内容	代表者氏名 (役職名)	代表 担当者	代表 担当者
事業の 実施責任者 の氏名・職 名・所属 (補充補助 は別記入)	代表者氏名 (役職名)	代表 担当者	代表 担当者
特記事項	代表者氏名 (役職名)	代表 担当者	代表 担当者
JKA使用欄	代表者氏名 (役職名)	代表 担当者	代表 担当者

### 2. 申請事業 , 3. 補助事業実施の必要性(意義)

<交付申請>  
別紙・JKA補助事業 平成25年度 事前計画／自己評価書(2/5)

2. 申請事業

補助事業名	事業 内容
事業項目名	公益目的事業情報 事業区分 事業区分のコード等については マニュアルを参照してください。
事業種別	事業区分 事業区分のコード等については マニュアルを参照してください。
事業費総額	事業費総額
補助金 交付申請額	補助金 交付申請額
委託事業の有無	委託事業の有無
委託費総額	委託費総額
委託費比率	委託費比率
ポイント	ポイント

3. 補助事業実施の必要性(意義)

○補助事業実施の必要性を、最終的に解決等を目指す社会的課題及び受益者(ターゲット)との関係で整理してください。  
補助事業が結果(アウトプット)・成果(アウトカム)により、(1)社会的課題の改善、解消、解決等、最終的には、社会的課題が改善、解消、解決等された社会等の状況(1)を目指すこと(社会的課題の改善、解消、解決等)を目指す。最終的には、社会的課題が改善、解消、解決等された社会等の状況(1)を目指すこと(社会的課題の改善、解消、解決等)を目指す。

(1)補助事業が最終的に目指すこと  
社会的課題の現状と、この補助事業が最終的に目指す社会的課題(課題)が改善、解消、解決等された社会等の状況(1)を記入してください。

**補助事業が最終的に目指すこと(社会的課題の改善、解消、解決等)**

社会的課題 の現状	
目指す点	

(2)補助事業の直接的な目的  
補助事業の結果(アウトプット)・成果(アウトカム)の直接的な効果により達成を目指す。補助事業の直接的な目的を記入してください。

**補助事業の直接的な目的**

--	--

(3/5)

### 4. 補助事業の事前計画

<交付申請>  
別紙・JKA補助事業 平成25年度 事前計画／自己評価書(3/5)

4. 補助事業の事前計画

補助事業				
(1) 受益者 (ターゲット)				
(2) 事業内容				
継続の 必要性				
事業の 実施責任者				
実施 計画	【実施計画】事業の実施計画(実施計画) 【実施計画】事業の実施計画(実施計画) 【実施計画】事業の実施計画(実施計画)			
実施体制				
(3) 事業の 実施結果	計画	計画	計画	計画
(4) 事業の 成果・ 波及	計画	計画	計画	計画
(5) 事業の 成果・ 波及	計画	計画	計画	計画
(6) 自己評価の 結果 補助事業の結果 が、成果・的効果 を得たことを 記入				

事業終了後に自己評価(4/5～5/5)を実施してください。

補助金交付申請時、自己  
評価時ともに、事前計画／  
自己評価書は、(1/5)～  
(5/5)の5ページ全体を  
提出してください。



## 5. 補助事業の自己評価

＜付表申請＞

別紙・JKA補助事業 平成25年度 事前計画／自己評価書(5/5)

(3) 事業の促進・阻害要因の自己分析 (① 自己評価 ①に併せて実施してください。)

- 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)～(15)の「促進」または「阻害」欄に「●」を記し、当該の内容を②欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを③欄に、それぞれの要因分類の番号(1)～(15)を付して、具体的に記入ください。
- 促進または阻害要因が無い場合には、(16)の欄に「●」を記し、その理由をご記入ください。

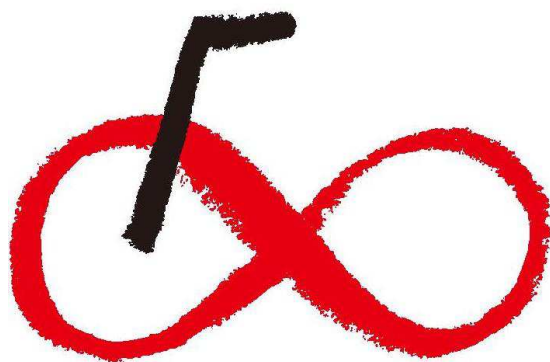
事業の促進・阻害要因の自己分析

促進	阻害	要因分類	② 促進または阻害要因の具体的な内容	③ 対応、今後この分析結果をどう活かすか
		(1) 経費		
		(2) 実施体制 (人員、関係機関 の協力等の確保)		
		(3) 資料調査 (事業実施に必要な 情報の収集の確保)		
		(4) 実施期間 (事業終了までに 要する期間)		
		(5) 事業運営のノウハウ (進捗管理、 資金管理等)		
		(6) 設計仕様の 変更(主に建築)		
		(7) その他		
		(8) 受益者の 規模・ニーズ		
		(9) 実施体制以外 の関係機関の協 力支援		
		(10) 関係機関制度 の変更		
		(11) 関係関係者 (受益者以外の 要員への対応)		
		(12) 災害の発生 (地震、洪水等)		
		(13) 関係者の技術 開発		
		(14) 競合するサー ビス・事業の出現		
		(15) その他		
		(16)		

事業終了後に自己評価を実施してください。

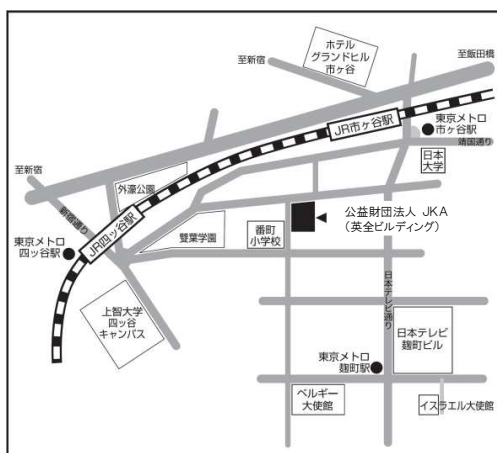
内部要因

外部要因



# RING!RING! プロジェクト

競輪 & オートレースの補助事業



問合せ先

## 公益財団法人 JKA

〒102-8011 東京都千代田区六番町4番地6

[補助事業部]

企画・評価課

TEL:03 (3512) 1279 FAX:03 (3512) 1274

問合せ時間 平日の9時30分 から 12時まで  
13時 から 17時30分まで

## JKA補助事業ホームページアドレス

<http://ringring-keirin.jp>